

平成 22 年度社団法人日本栄養士会政策課題調査研究

**介護保険施設における  
栄養マネジメント業務の質と量及び  
利用者・家族の満足度に関する調査  
報告書**

**平成 23 年 10 月**

**社団法人 日本栄養士会  
全国福祉栄養士協議会**

# 目 次

I 要 約.....	3
II 研究報告	
1. 目 的.....	9
2. 方 法.....	9
3. 結 果.....	10
4. 考 察.....	16
5. 図.....	19
6. 表.....	24
III 調査票	
調査票 1:介護保険施設における栄養マネジメントの業務調査(基本項目) .....	53
調査票 2:栄養マネジメントの業務調査(業務項目)入力フォーム.....	54
調査票 3:栄養マネジメント(栄養・食事の計画及び実施等)に関する実態及びニーズに関する質問票.....	55
IV 資料編	
研究説明書 1:介護保険施設における栄養マネジメントに係る業務量調査の基本項目に関する説明書.....	59
研究説明書 2:介護保険施設における栄養マネジメントに係る業務量調査の業務量項目に関する説明書.....	63



# I 要約

---



## 「介護保険施設における栄養マネジメント業務の質と量及び 利用者・家族の満足度に関する調査」報告

### I 要 約

平成23年1月に全国の介護保険施設に勤務する管理栄養士を対象として1か月間の栄養マネジメントの主要業務時間数に関する調査を行った。さらに、その調査期間中に栄養マネジメントを実施している利用者およびご家族に「栄養マネジメントに関する意識・ニーズ調査」を行った。同調査に協力した施設数は499であった。

介護保険施設（介護老人福祉施設313、介護老人保健施設186）において栄養マネジメント業務に対して専属の管理栄養士を配置している施設（以下「専属群」という。）277施設と1人の管理栄養士が栄養マネジメントと給食業務を兼務している施設（以下「給食兼務群」という。）222施設を対象に調査を実施した。

調査期間における調査対象施設の1施設当たり月平均入所者定員は、給食兼務群より専属群の施設で15.1人多く、現入所者数は13.8人、新入所者数1.6人、医療機関退院者数0.5人と専属群が多くかった。その他退所者数、医療機関入院者数には大きな差はなかった。栄養マネジメントの質と量に関わるサービス担当者会議の回数は専属群が7.9回多く、栄養マネジメントの説明・同意の人数は3.4人多かった。

栄養マネジメント業務に関わる全業務時間数では専属群が現入所者1カ月1人あたり35.2分多く、フェースシート作成を除く栄養マネジメント業務のすべての項目で専属群の業務時間数が有意に多かった。給食兼務群に比べて専属群は、栄養マネジメント業務総時間数が1.47倍であり、その業務時間数のうち栄養ケア実施に1.66倍、モニタリング・評価1.56倍、栄養ケア計画書1.41倍、栄養アセスメント1.38倍、施設外研修1.34倍であり、栄養マネジメント専属の管理栄養士は適切な栄養マネジメントを実施するために携わっている時間が多いという状況であった。また、在宅に係る業務である通所の栄養改善では、給食兼務群と比較して専属群において業務時間数が有意に多いことは、栄養マネジメント専属の管理栄養士が配置されていれば通所サービス事業の栄養改善の実施率を向上させることができるものと考えられた。経口維持（II）、経口移行、療養食の加算申請は専属群が高く、その実績数においても経口維持（II）、療養食は専属群で高いということから、口から食べることに対する取り組みも疾患に対する対応も栄養マネジメント専属の管理栄養士が配置されていることで利用者の個々の心身状況に応じた適切な栄養ケアの実施ができると考えられた。

利用者およびご家族に実施した「栄養マネジメントに関する意識・ニーズ調査」の結果では「管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか」「管理栄養士とお話をしても栄養や食事のことが理解できてよかったです」「管理栄養士が関わっているので栄養や食事について安心できる」「管理栄養士に栄養や食事に関するこの質問や相談ができるのでよかったです」に「はい」と答えた割合は専属群において有意に多く、専属群の管理栄養士は利用者あるいは家族とお話する機会を多く得ることができ、さらに給食兼務群より専属群において栄養マネジメントへの満足度が有意に高いものと評価できる。

ただし、「栄養マネジメントが実施されたことによかったとおもわれること」の実施内容では両群間の有意差はないものの、利用者の変化の「風邪などにかかりにくくなった」「体重が増えた」「元気になった」「体調が良くなつた」「顔色が良くなつた」「表情が

良くなった」「行事に参加するようになった」「会話が増えた」に「はい」と答えた割合は専属群において有意に多かったことから、栄養マネジメント専属の管理栄養士を配置している施設においては栄養マネジメントの目標である健康感やQOLの向上に向けての栄養ケア取り組みの達成度が高いことが伺えた。

なお、「栄養・食事の計画や実施に対する要望等」のうち「栄養・食事の計画が分かりにくい」「食べたいものを食べさせてほしい」に「はい」と答えた割合が給食兼務群において有意に多く、給食兼務群が「管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか」に「いいえ」と答えた割合が多かったことから、利用者や家族とお話する機会が少ないことで、栄養ケア計画書の内容の説明が十分にできないことや利用者・家族の意向を十分に把握することができないものと考えられた。

これらの内容を要介護別にみると、実施内容の「食事の形態が食べやすいように工夫されている」では要介護5、「自力で食べられるように工夫されている」では要介護4、「希望する食事が食べられる」要介護2と満足度の内容が要介護によって異なっていることが分かった。利用者の変化の「口から食べられるようになった」「褥瘡が良くなった」「顔色が良くなった」では要介護5、「食事を楽しみにするようになった」「行事に参加するようになった」「会話が増えた」では要介護1、「元気になった」では要介護2の人が「はい」と答えた人が多かった。栄養・食事の計画や実施に対する要望等の「胃ろうがあっても口から食べさせてほしい」「ミキサーではなく形あるものを食べさせてほしい」に「はい」と答えた人が多かったのは要介護5であり、同様の内容を給食業務の直営群と全面委託群で比較してみると、「管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか」「管理栄養士に栄養や食事に関する質問や相談ができるのでよかった」、利用者の変化における「食べる意欲が増えた」「体重が増えた」で「はい」と答えた人が全面委託群で多かったものの、多くの項目で顕著な違いは認められなかった。

したがって、利用者の満足度を高めるには、栄養マネジメント業務形態（専属、給食兼務）による差が大きいことが明白になり、利用者満足度を高める要因の一つとして栄養マネジメントに携わる時間を十分に確保する必要があることが示唆された。また、同様内容を要介護群別、栄養補給法群別、食形態群別にみると、それぞれの群において特徴があり、その特徴を把握した上で栄養マネジメントに取り組むことが重要であることも示唆された。

さらに、管理栄養士と栄養や食事について話した群と話していない群とを比較してみると「管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか」「管理栄養士とお話をしても栄養や食事のことが理解できてよかった」「管理栄養士が関わっているので栄養や食事について安心できる」「管理栄養士に栄養や食事に関する質問や相談ができるのでよかった」に「はい」と答えた割合は移行訓練群で多かった。実施内容の「食事の形態が食べやすいように工夫されている」「自力で食べられるように工夫されている」「体調に合わせて食事を作ってくれる」「希望する食事が食べられる」のすべての項目において「はい」と答えた割合は経口群で多かった。利用者の変化の「口から食べられるようになった」「食べる意欲が増えた」「笑顔が増えた」「会話が増えた」では移行訓練群、「食事を楽しみにするようになった」「食欲が出てきた」「食べる量が増えた」「水分の摂取量が増えた」「風邪などにかかりにくくなった」「元気になった」「行事に参加するようになった」では経口群で「はい」と答えた割合が有意に多く、栄養・食事の計画や実施に

対する要望等の「胃ろうがあっても口から食べさせてほしい」では移行訓練群、「食べたいたいものを食べさせてほしい」「差し入れは制限して欲しくない」では経口群で「はい」と答えた割合が有意に多かった。これらのことから「口から食べること」を大切にしたいという意向が明確であり、栄養マネジメントに対する内容や質を向上させるための重要なポイントが明確になった。



## II 研究報告



## II 研究報告

### 1. 目的

介護保険施設では介護予防、重症化予防に向けて、利用者一人ひとりの心身の状況に応じた適正な質の高い食事サービスを提供するために、精力的に栄養マネジメントを取り組まれているが、それが利用者や家族にどの程度満足されているのか、また、満足される栄養マネジメントを実施するための適切な内容や時間等が明らかになっていない。

このような状況では、栄養マネジメントをどのように行うべきか、どのような栄養マネジメントが求められているかを把握することができず、有効な栄養マネジメントの実施や質の向上は危惧される。

栄養マネジメントの質と量及び利用者・家族の満足度を高い科学性を有する研究によって明らかにできれば、今後の栄養マネジメントの質と利用者・家族の満足度を高める上で有益であると考えられる。

そこで、全国の介護保険施設における栄養マネジメントの実態を把握するとともに、利用者等のニーズや満足度における栄養マネジメントの関連を明らかにすることを目的として、全国規模の横断研究を実施した。

### 2. 方 法

#### 2-1. 研究計画ならびに対象者

介護保険施設（介護老人福祉施設、介護老人保健施設）の管理栄養士を対象に栄養マネジメント業務の質と量の調査を行った。その調査を実施した施設の利用者・家族を対象に栄養マネジメントに関する意識・ニーズ調査を行った。

管理栄養士の業務形態と内容を確認するための予備調査を平成22年度全国福祉栄養士協議会が実施した専門研修会の参加者に行い、業務内容を標準化することができなかった給食業務一部委託施設については調査対象者外施設として除くこととした。

なお、調査対象施設は、栄養マネジメントに専属の管理栄養士を配置している施設と、1人の管理栄養士が給食業務を兼務しながら栄養マネジメントを行っている施設を抽出するため各都道府県の福祉職域代表者を通して業務形態調査を行った。

栄養マネジメント業務の質と量および栄養マネジメントに関する意識・ニーズ調査の調査票は、(社)日本栄養士会全国福祉栄養士協議会の会員が合議して作成したもの用いた。(調査票1、2、3)

(社)日本栄養士会全国福祉栄養士協議会内に研究事務局を設置、研究事務局が調査票等の必要書類を準備し、抽出された介護保険施設の管理栄養士に送付して研究への参加の有無を調査した。参加の意思を表示した管理栄養士に対して施設単位での研究への参加を募り、参加を承諾した施設を研究対象施設とした。それぞれの施設に勤務する管理栄養士が調査担当者となり、栄養マネジメントの質と量の調査を行った。さらに、その施設に在所する利用者に対して、意思疎通が出来る場合には本人に、困難な場合にはその家族の1人に研究内容を口頭にて説明し、同意が得られた利用者を研究の対象者とした。対象者にはCDに入力した業務量調査票と意識・ニーズに関する質問票を送付した。

調査担当者が調査を行ったうえで、入力済みのCDと記入済みの調査票を研究事務

局に送付し、調査票は研究事務局にて作成した入力フォームにデータを入力した。データに不備や不明な点がある場合は、研究事務局から担当管理栄養士に問い合わせを行い、情報の不備を可能な限り排除するための努力を行った。栄養マネジメントの質と量の調査は平成23年1月17日から平成23年2月16日までの1か月間、栄養マネジメントの意識・ニーズに関する調査はその期間のうちに実施した。

栄養マネジメントの質と量の調査に参加したのは535施設であり、栄養マネジメントの意識・ニーズ調査の対象者は5350人であった。

## 2-2. 解析方法

この報告書では、データの修正、解析準備が整った栄養マネジメントの質と量の調査と栄養マネジメントの意識・ニーズ調査を解析に用いた。

栄養マネジメントの質と量の調査については、データに不備や不明な点があった施設を除いた499施設（栄養マネジメントの意識・ニーズ調査5023人）を解析対象施設とした。

結果は、業務形態別による基本属性の項目および業務内容別の集計と、意識・ニーズ調査におけるカテゴリーの質問は、できるだけカテゴリーのまま集計を行った。

介護状況、食事状況、管理栄養士と利用者・家族との連携状況が栄養マネジメントの質に与える影響を検討するために、それぞれの要因が栄養マネジメントの質に与える影響について解析した。

結果は $p < 0.05$ をもって有意と判断した。

## 3・結果

### 3-1. 調査の流れ

図1に調査対象施設を示す。また、図2に調査および解析対象者に関する流れ図を示す。業務調査実施施設のうち、今回の調査対象施設ではなかった給食業務一部委託施設23（利用者・家族230人）と、東日本大震災により調査内容の不備等の確認が出来なかつた施設13（利用者・家族130人）を除いた499施設（利用者・家族5023人）を調査実施施設として解析した。

### 3-2. 栄養マネジメント業務の状況

表1-1に、栄養マネジメント業務の状況を示す。介護保険施設（介護老人福祉施設313、介護老人保健施設186）において栄養マネジメント業務に対して専属の管理栄養士を配置している施設（以下「専属群」という。）277施設と1人の管理栄養士が栄養マネジメントと給食業務を兼務している施設（以下「給食兼務群」という。）222施設を対象に調査を行った。

調査対象施設の1施設当たり月平均入所者定員は、専属群が $87.7 \pm 29.8$ 人であり、給食兼務群 $72.6 \pm 22.9$ 人で15.1の有意差があった。調査期間における1施設当たりの月平均現入所者数は、専属群が $83.8 \pm 28.9$ 人であり、給食兼務群が $70.0 \pm 22.0$ 人で13.8人の有意差があった。その他新入所者数が1.6人、医療機関退院者数が0.5人ほど専属群の方が多かった。また、他退所者数、医療機関入院者数においては有意差

がなかった。サービス担当者会議の回数は専属群が $22.9\pm21.4$ 回、給食兼務群が $15.0\pm12.8$ 回であり、栄養マネジメントの説明・同意の人数は専属群 $14.8\pm13.8$ 人、給食兼務群 $11.4\pm12.5$ 人で入所者数と同様に専属群で有意に多かった。行事食（イベント食）の回数では両群間に有意差はなかった。

栄養マネジメントの事務業務についてはパーソナルコンピュータ使用と手書きとの2つの項目での比較と、栄養ケア計画・経過記録における栄養マネジメントとして独自作成か施設ケアプラン・個別記録に記入で比較した結果、専属群と給食兼務群の両群間に有意差はなかったことから、両群間において事務業務に係る業務時間数には影響がないことが分かった。

在宅サービスである併設事業について、通所リハビリテーションでは専属群43.3%、給食兼務群25.7%であり、通所リハビリテーションの併設施設数において専属群が多いという有意差はあったものの、通所介護、居宅支援事業所、地域包括支援センターの併設においては両群間に有意差はなかった。また、通所サービス事業である栄養改善の加算申請については、通所リハビリテーションでは専属群17.0%、給食兼務群7.2%、介護予防通所リハビリテーションでは専属群13.0%、給食兼務群5.0%と両群間に有意差はあったが、通所介護、介護予防通所介護においては有意差はなかった。その栄養改善に対する取組実績について、実施数は低いものの通所リハビリテーションでは専属群が有意に高かった。

なお、その他の加算申請について、経口維持（II）は専属群37.2%、給食兼務群24.8%、経口移行は専属群24.6%、給食兼務群14.4%、療養食は専属群87.7%、給食兼務群77.9%であり、両群間に有意差はあったものの、経口維持（I）については件数も少なく両群間の有意差はなかった。

看取り介護加算申請、看取り介護実施件数、インシデントやアクシデントの回数については、両群間に有意な差はなかった。

### 3-3. 入所者の要介護および食事の状況

表1-2に、入所者の介護度および食事の状況を示す。専属群の要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5は施設平均5.3人、11.2人、19.1人、24.7人、24.2人であり、給食兼務群の要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5は3.7人、7.7人、14.6人、20.3人、23.8人であった。

栄養補給法の経口、非経口では、専属群が施設平均76.8人、7.6人であり、給食兼務群が62.0人、8.2人であった。そのうちの経口の食形態の常食、軟食、ミキサー食では、専属群が27.9人、31.9人、17.0人であり、給食兼務群は19.1人、26.6人、16.4人であった。食事介助を自力、一部介助、全介助に区分すると、専属群は47.5人、15.8人、13.5人であり、給食兼務群は35.5人、13.8人、12.8人であった。

### 3-4. 栄養マネジメントに関わる業務時間数

表2-1に、栄養マネジメントに関わる業務時間数示す。栄養マネジメント業務に関わる全業務時間数（調査期間の入所者現員数1カ月1人当たりに対する平均時間数）は専属群が $110.6\pm59.8$ 分（全業務時間数72.4%）であり、給食兼務群が $75.4\pm36.3$

分（全業務時間数 47.5%）と専属群で有意に高かった。栄養マネジメントのフェースシート作成、栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養ケア計画、栄養ケア実施、モニタリング・評価、会議、研修、指導・教育を業務区分ごとにみると、専属群は現入所者 1 人当たり 2.3 分、8.5 分、12.7 分、15.9 分、34.1 分、15.3 分、5.8 分、4.8 分、4.1 分費やしており、給食兼務群は 2.1 分、6.8 分、9.2 分、11.3 分、20.5 分、9.8 分、6.1 分、3.8 分、1.0 分費やしていた（図 3）。フェースシート作成、会議、指導・教育を除く栄養マネジメント業務のすべての項目で専属群が給食兼務群に比較して業務時間数が有意に多かった。また、栄養マネジメントの全業務時間総数は給食業務兼務の管理栄養士に比べて栄養マネジメント専属の管理栄養士は 1.47 倍であり、その業務時間数のうち栄養ケア実施に 1.66 倍、モニタリング・評価 1.56 倍、栄養ケア計画書 1.41 倍、栄養アセスメント 1.38 倍、施設外研修 1.34 倍であった。

なお、在宅に係る業務においては専属群 2.8 分、給食兼務群 1.9 分であり、専属群において業務時間数が有意に多かった。給食業務を含めた全業務時間みると、専属群が  $152.8 \pm 69.0$  分、給食兼務群が  $184.2 \pm 80.2$  分であり、給食兼務群は有意に時間を多く費やしていた。

### 3-5. 栄養マネジメントに関する意識・ニーズ

表 3-1 に、栄養マネジメントに関する意識・ニーズ調査ができた 5,023 人（専属群：2,875 人、給食兼務群：2,148 人）についての身体特性を、表 3-2 に意識・ニーズの状況を専属群、給食兼務群別に示した。

専属群と給食兼務群の男女別の年齢、身長、体重、BMI や介護度、褥瘡の状態、栄養補給法、食形態においては群間での差はなかった。「管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか」「管理栄養士とお話をしても栄養や食事のことが理解できてよかったです」「管理栄養士が関わっているので栄養や食事について安心できる」「管理栄養士に栄養や食事に関する質問や相談ができるのでよかったです」の各項目について「はい」と答えた人は、専属群が 84.9%、79.8%、83.3%、81.1%、給食兼務群が 77.0%、70.1%、74.0%、72.1% であり、専属群において有意に高かった（図 4-1）。また、「栄養マネジメントが実施されたことでよかったです」とおもわることの実施内容の各項目については、専属群と給食兼務群の間で有意差はないものの、「食事の形態が食べやすいように工夫されている」約 7 割、「体調に合わせて食事を作ってくれる」約 5 割の人が「はい」と答えていた。利用者の変化については、「風邪などにかかりにくくなったり」「体重が増えた」「元気になった」「体調が良くなったり」「顔色が良くなったり」「表情が良くなったり」「行事に参加するようになった」「会話が増えた」に「はい」と答えた割合は、専属群が 22.3%、25.9%、37.8%、38.2%、30.0%、36.5%、23.3%、24.3%、給食兼務群が 19.9%、23.0%、33.9%、33.0%、25.4%、32.7%、18.9%、21.9% であり、専属群において有意に高かった（図 4-2）。

なお、「栄養・食事の計画や実施に対する要望等」のうち「食べたいものを食べさせてほしい」に「はい」と答えた人は約 3 割と一番多かったが、専属群と給食兼務群間の差はなかった。「栄養・食事の計画が分かりにくい」「胃ろうがあっても口から食べさせてほしい」について、専属群が 3.3%、2.7%、給食兼務群が 5.4%、3.8% で

あり、給食兼務群において有意に高かった（図4-3）。

続いて給食業務直営群、全面委託群別については表4-1、表4-2に、介護度群別については表5-1、表5-2に、栄養補給法群別については表6-1、6-2に、食形態群別については表7-1、7-2に示した。

給食業務直営群と全面委託群の男女別の年齢、身長、体重、BMIや介護度、褥瘡の状態、栄養補給法、食形態においては差がなかった。「管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか」「管理栄養士に栄養や食事に関する質問や相談ができるのでよかったです」について「はい」と答えた割合は、直営群（専属群と給食兼務群）が78.0%、73.5%、全面委託群（専属群のみ）が87.7%、84.0%であり、全面委託群において有意に高かった。また、「栄養マネジメントが実施されたことでよかったですとおもわれること」の利用者の変化に対しては、「食べる意欲が増えた」「体重が増えた」に「はい」と答えた人は、直営群が30.3%、23.4%、全面委託群が33.0%、26.9%であり、全面委託群において有意に高かったものの、いずれの項目においても直営群の中に給食兼務群が含まれている影響があると考えられた。

介護度別の年齢、身長、体重、BMIでは、年齢と身長には大きな差はないものの、体重とBMIは介護度が重くなるにしたがって減少していた。褥瘡の状態「あり」は要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5（0.7%、1.2%、1.4%、3.5%、5.3%）と介護度が重くなるにしたがって高い割合を示していた。栄養補給法の「口から食べる」「胃ろう・経管栄養」「口から食べるよう訓練している」に該当する人は、要介護1（100%、0%、0%）要介護2（99.9%、0%、0.1%）要介護3（99.4%、0.3%、0.3%）要介護4（96.5%、2.3%、1.2%）要介護5（80.2%、15.7%、4.1%）であり、介護度が重くなるほど「口から食べる」割合が低くなり、「胃ろう・経管栄養」「口から食べるよう訓練している」の割合が高くなっていた。食形態の「常食」「軟食」「きざみ食（ミキサー食含む）」「ゼリー食（ムース食含む）」に該当する人は、要介護1（69.8%、16.6%、13.4%、0.2%）要介護2（61.8%、19.0%、18.4%、0.9%）要介護3（48.6%、19.7%、29.0%、2.4%）要介護4（29.1%、18.2%、41.5%、8.8%）要介護5（9.6%、10.8%、46.1%、17.8%）であり、介護度が重くなるほど「常食」の割合が低くなり、「きざみ食（ミキサー食含む）」「ゼリー食（ムース食含む）」の割合が高くなっていた。ただし、軟食においては介護度と関係なく、介護度2と3で割合が高く、要介護1と5で割合が低くなっていた。

「管理栄養士とお話をして栄養や食事のことが理解できてよかったです」に「はい」と答えた割合は、要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5（71.9%、75.8%、75.9%、76.4%、75.8%）であり、理解できている割合は要介護1が有意に低かった。

「管理栄養士に栄養や食事に関する質問や相談ができるのでよかったです」に「はい」と答えた割合は、要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5（76.5%、77.5%、76.7%、78.1%、76.9%）であり、要介護2と4で有意に高かった。

また、「栄養マネジメントが実施されたことでよかったですとおもわれること」の実施内容において高い割合を示したのは、「食事の形態が食べやすいように工夫されている」が要介護4（74.9%）、「自分で食べられるように工夫されている」が要介護4（52%）、「希望する食事が食べられる」が要介護2（37.4%）であり、利用者の変

化においては「口から食べられるようになった」が要介護5 (14.0%)、「食事を楽しみにするようになった」が要介護1 (55.8%)、「食べる意欲が増えた」が要介護4 (34.1%)、「食欲が出てきた」が要介護1・要介護4・要介護3 (34.6%、32.3%、32.2%)、「風邪などにかかりにくくなった」が要介護2・要介護3 (23.4%、23.2%)、「糖尿病等が食事で良くなった」が要介護2・要介護3・要介護1 (8.2%、8.2%、7.8%)、「褥瘡が良くなった」が要介護5 (7.6%)、「元気になった」が要介護2 (40.9%)、「顔色が良くなった」が要介護5 (33.3%)、「行事に参加するようになった」が要介護1 (28.3%)、「会話が増えた」が要介護1 (28.6%)であった。

栄養補給法別の年齢、身長、体重、BMIでは、年齢と身長には大きな差はないものの、体重とBMIは経口群より胃ろう・経管栄養群、移行訓練群において低い値を示していた。褥瘡の状態「あり」は胃ろう・経管栄養群 6.9%、移行訓練群 4.4%、経口群 2.6%であった。

「管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか」に「はい」と「いいえ」と答えた割合は、経口群 (82.0%、18.0%)、胃ろう・経管栄養群 (69.0%、31.0%)、移行訓練群 (87.0%、13.0%)であり、管理栄養士と話した割合は経口群と経口移行群で有意に高く、胃ろう・経管栄養群で低かった。また、「管理栄養士とお話をしても栄養や食事のことが理解できてよかったです」「管理栄養士が関わっているので栄養や食事について安心できる」「管理栄養士に栄養や食事に関する質問や相談ができるのでよかったです」では栄養補給法別の群間の有意差はなかった。

栄養マネジメントが実施されてよかったですと思われる実施内容では、「食事の形態が食べやすいように工夫されている」「自力で食べられるよう工夫されている」

「体調に合わせて食事を作ってくれる」「希望する食事が食べられる」で「はい」と答えた経口群の割合は 73.2%、46.6%、53.3%、28.8%であり、胃ろう・経管栄養群と移行訓練群より全ての項目で有意に高かった。また、経口群において利用者の変化で「はい」と答えた割合が高かった項目は「食事を楽しみにするようになった (43.7%)」「食欲が出てきた (31.9%)」「食べる量が増えた (23.1%)」「水分の摂取量が増えた (17.8%)」「風邪などにかかりにくくなった (21.9%)」「糖尿病等が食事で良くなった (7.2%)」「元気になった (37.2%)」「行事に参加するようになった (22.2%)」であり、移行訓練群の割合が高かった項目は「口から食べられるようになった (50.7%)」「食べる意欲が増えた (44.9%)」「褥瘡が良くなった (10.1%)」「顔色が良くなった (44.9%)」「表情が良くなった (49.3%)」「笑顔が増えた (29.0%)」「会話が増えた (30.4%)」であった。

栄養・食事の計画や実施に対する要望等について、高い割合を示したのは、経口群では「食べたいものを食べさせてほしい (35.0%)」「差し入れは制限して欲しくない (13.4%)」「体重が増えないように (5.6%)」であり、経口移行群では「胃ろうがあっても口から食べさせてほしい (52.2%)」「ミキサーではなく形あるものを食べさせてほしい (13.0%)」であった。

次いで食形態群別の平均年齢は、男性では常食群 78.8 歳であったが、軟食群 82.2 歳、きざみ群 82.9 歳、ゼリー食群 82.7 歳と常食群を除くと平均年齢では差がなかった。女性では常食群 85.7 歳、軟食群 86.9 歳、きざみ群 88.2 歳、ゼリー食群 89.1 歳

と食形態が軟らかくなるにしたがって年齢が高くなっていた。身長、体重、BMIは、男女とも食形態が軟らかくなるにしたがって低くなっていた。

「管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか」に「はい」と答えた割合は、常食群（82.3%）、軟食群（86.2%）、きざみ食群（78.9%）、ゼリー食群（86.1%）であり、管理栄養士と話した割合は軟食群とゼリー食群で有意に高く、きざみ食群で低かった。また、「管理栄養士とお話をして栄養や食事のことが理解できてよかったです」に「はい」と答えた割合は、常食群（75.1%）、軟食群（79.6%）、きざみ食群（74.7%）、ゼリー食群（79.8%）であり、お話が理解できた割合は軟食群とゼリー食群で有意に高く、常食群ときざみ食群で低かった。「管理栄養士が関わっているので栄養や食事について安心できる」「管理栄養士に栄養や食事に関するとの質問や相談ができるのでよかったです」では食形態群別の有意差はなかった。

栄養マネジメントが実施されてよかったですと思われることの実施内容では、「はい」と答えた割合が有意に高かった項目は、「食事の形態が食べやすいように工夫されている」ではゼリー食82.5%、きざみ食82.4%であり、「自力で食べられるよう工夫されている」では軟食群52.0%、「体調に合わせて食事を作ってくれる」ではゼリー食群59.3%、「希望する食事が食べられる」では常食群34.2%であった。また、利用者の変化で「はい」と答えた割合が高かった項目は、常食群では「食事を楽しみにするようになった（50.9%）」「糖尿病等が食事で良くなった（8.9%）」「行事に参加するようになった（26.9%）」「会話が増えた（26.9%）」であり、軟食群では「体重が増えた（27.3%）」「体調がよくなつた（38.8%）」「笑顔が増えた（29.4%）」であり、ゼリー食では「口から食べられるようになった（19.7%）」「褥瘡が良くなつた（10.9%）」「顔色が良くなつた（36.3%）」「表情が良くなつた（41.3%）」であった。

なお、栄養・食事の計画や実施に対する要望等について、有意に高い割合を示し項目は、常食群では「差し入れは制限して欲しくない（15.5%）」「体重が増えないように（6.8%）」であり、軟食群では「食べたいものを食べさせてほしい（37.7%）」、ゼリー食群では「胃ろうがあっても口から食べさせてほしい（7.7%）」「ミキサーではなく形あるものを食べさせてほしい（11.5%）」「計画書へのサインが頻回なので面倒である（9.0%）」であった。

### 3-6. 管理栄養士と利用者および家族との連携状況

表8-1に、管理栄養士と栄養や食事について話した群と話していない群についての身体特性を、表8-2意識・ニーズの状況を話した群、話していない群別に示した。

話した群と話していない群の男女別の年齢、身長、体重、BMIや介護度、褥瘡の状態、栄養補給法、食形態において有意差はなかった。

栄養マネジメントが実施されてよかったですと思われることの実施内容では、「はい」と答えた割合が有意に高かった項目は、話した群の「食事の形態が食べやすいように工夫されている（71.4%）」「自力で食べられるよう工夫している（45.4%）」「体調に合わせて食事を作ってくれる（54.2%）」「希望する食事が食べられる（28.9%）」であった（図5-1）。また、利用者の変化で「はい」と答えた割合が有意に高かった項目は、話した群の「口から食べられるようになった（8.1%）」「食事を楽しみに

するようになった（42.7%）」「食べる意欲が増えた（33.1%）」「食欲が出てきた（31.5%）」「食べる量が増えた（23.5%）」「水分の摂取量が増えた（17.8%）」「糖尿病等が食事で良くなった（7.4%）」「体重が増えた（25.6%）」「元気になった（37.1%）」「体調がよくなつた（36.9%）」「顔色がよくなつた（28.7%）」「表情がよくなつた（36.4%）」「笑顔が増えた（28.1%）」「行事に参加するようになった（22.6%）」「会話が増えた（24.7%）」であり、有意差がなかった項目は「風邪などにかかりにくくなつた」「褥瘡が良くなつた」「体重が減つた」であった。（図5-2）栄養・食事の計画や実施に対する要望等について、有意に高い割合を示した項目は、話した群では「計画書へのサインが頻回なので面倒である（6.5%）」「食べたいものを食べさせてほしい（35.2%）」「差し入れは制限して欲しくない（13.3%）」「体重が増えないように（5.8%）」であり、話していない群では「栄養・食事の計画が分かりにくい（6.9%）」であった（図5-3）。

統いて管理栄養士と栄養・食事について話した群の業務形態別については表8-3、表8-4に、話していない群の業務形態については表8-5と表8-6に示す。

管理栄養士と栄養・食事について話した群のうち栄養マネジメント業務専属群と給食兼務群の男女別の年齢、身長、体重、BMIや介護度、褥瘡の状態、栄養補給法、食形態において有意差はなかった。

「管理栄養士とお話を栄養や食事のことが理解できてよかつた」「管理栄養士が関わっているので栄養や食事について安心できる」「管理栄養士に栄養や食事に関するこの質問や相談ができるのでよかつた」に「はい」と答えた割合は、専属群（94.0%、98.1%、95.5%）で有意に高かった。また、栄養マネジメントが実施されてよかつたと思われることの実施内容では有意差はなかったが、利用者の変化で「はい」と答えた割合が有意に高かった項目は、専属群では「風邪などにかかりにくくなつた（22.8%）」「体重が増えた（26.7%）」「元気になった（39.2%）」「体調がよくなつた（39.4%）」「顔色がよくなつた（30.4%）」「表情がよくなつた（38.2%）」「行事に参加するようになった（24.7%）」「会話が増えた（25.8%）」であった。

栄養・食事の計画や実施に対する要望等について、有意に高い割合を示した項目は、専属群では「体重が減らないように（6.8%）」であったが、給食兼務群では「栄養・食事の計画が分かりにくい（4.6%）」「胃ろうがあつても口から食べさせてほしい（4.1%）」「食べたいものを食べさせてほしい（37.3%）」であった。

#### 4. 考 察

全国499の介護保険施設で、栄養マネジメント業務の質と量および5023人の利用者または家族に栄養マネジメントに関する意識・ニーズ調査をし、栄養マネジメント内容と業務の質と量の関連を明らかにした。

今回の調査で明らかになった主な点は、（1）利用者や家族に満足される栄養マネジメントを実施するためには、栄養マネジメント専属の管理栄養士の配置が必要であること、（2）利用者や家族が栄養マネジメントの必要性を理解し、その効果を確認していただくためには、管理栄養士と十分に連携する必要があること、（3）口から食べることへの支

援（経口維持や経口移行）や疾病に応じた療養食に取り組み、利用者のQOLを高めるには、栄養マネジメントの時間を十分に確保すること、（4）介護保険施設に併設されている通所サービス事業の栄養改善に取り組むには給食業務を兼務している管理栄養士には困難であること、（5）利用者や家族の栄養マネジメントへの意識・ニーズが明らかになつたことであると考えられる。

特に、栄養マネジメントへの意識・ニーズと栄養マネジメントの内容と業務の質と量との関連を明らかにした点は、質の高い栄養マネジメント、利用者や家族の満足度を高める栄養マネジメントを目標に業務をすることが重要であることを強く示す結果と考えられる。

介護保険施設における理栄養マネジメント業務の中で業務時間数が特に多いのは、栄養ケア実施であり、次いで栄養ケア計画、モニタリング・評価、栄養アセスメント、栄養スクリーニングであり、栄養マネジメント専属であるか給食兼務であるかには関係がなかつた。ただし、給食業務兼務の管理栄養士に比べて栄養マネジメント専属の管理栄養士は、栄養マネジメント業務総時間数が1.47倍であり、その業務時間数のうち栄養ケア実施に1.66倍、モニタリング・評価1.56倍、栄養ケア計画書1.41倍、栄養アセスメント1.38倍、施設外研修1.34倍であり、栄養マネジメント専属の管理栄養士は適切な栄養マネジメントを実施するために携わっている時間が多いう状況を確認したものである。また、平成19年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）における「介護老人福祉施設および介護老人保健施設における栄養ケア・マネジメントの有効性評価および業務量調査」（以下「19年度調査」という）の栄養マネジメントに該当する業務量と比べて今回の調査における栄養マネジメントの業務時間数は専属群（介護老人福祉施設1.24倍と介護老人保健施設1.32倍）、給食兼務群（介護老人福祉施設1.09倍と介護老人保健施設1.10倍）とも増加していることから、管理栄養士の全業務時間のうち栄養マネジメントにおける栄養ケア実施やモニタリング・評価にウエイトが置かれている状況が確認できた（図6）。

なお、栄養マネジメントの実践においては利用者・家族の健康感や身体状況、栄養・食事に関する意向を把握することになっており、管理栄養士が利用者や家族と面談する必要があることから「管理栄養士と栄養や食事に関するお話をしたことがある」「管理栄養士とお話をして栄養や食事のことが理解できてよかったです」「管理栄養士が関わっているので栄養や食事について安心できる」「管理栄養士に栄養や食事に関するこの質問や相談ができるのでよかったです」に「はい」と回答した割合が栄養マネジメント専属の管理栄養士を配置している施設で高かった。また、管理栄養士と栄養や食事に関するお話をした群において、栄養マネジメントが実施されたことでよかったですとおもわれることに対する「実施内容」の4項目、「利用者の変化」の3項目を除く15項目で「はい」と回答した割合が専属群で高かったことは、栄養マネジメント専属の管理栄養士を配置している施設では栄養ケア実施やモニタリング・評価、栄養ケア計画書に多くの時間をかけることができ、サービス担当者会議の件数、栄養マネジメントの説明・同意者数も多いことから、利用者や家族と面談する機会が多いという状況を強く示している。

さらに、介護度別、栄養補給法別、食形態別、利用者・家族と食事・栄養に関する話をしたか、話をしなかつたか別の栄養マネジメントに関する意識・ニーズにそれぞれ固有の特徴があることを確認することができた。特に、利用者・家族と栄養・食事に関する話を

しなかつたか群と給食兼務群において、栄養・食事の計画がわかりにくいという要望が有意に高かったことなど、今後、栄養マネジメントの内容を利用者や家族に理解していただくためには、十分な時間を確保する必要性があることを示唆している。

(1) 調査対象者施設として加えなかった医療療養型介護施設の管理栄養士の業務と利用者・家族の意識・ニーズの状況の調査ができた介護老人福祉施設護や介護老人保健施設と異なる可能性を除去できない点、(2) 介護老人福祉施設護と介護老人保健施設の調査施設数に差があった点、(3) 栄養マネジメント専属管理栄養士配置施設と給食兼務管理栄養士配置施設の調査施設数に差があった点などが挙げられる。そのために、結果にバイアスを与えてしまった可能性は否定できない。しかし、(2)における問題点は、平成19年度調査で介護老人福祉施設と介護老人保健施設との施設間の業務量に有意差がなかったことから、介護保険施設全体の結果を大きくゆがめる原因になりうるとは考えにくく、別途、詳細な検討をするものの、今回得られた結果は、協力した施設における実態をほぼ正しく表しているものと考える。

今回の結果、栄養ケア実施やモニタリング・評価に時間をかけることによって利用者・家族と連携できる時間を作ることができ、個々のニーズに沿った栄養マネジメントの質を高めることができることが明白になった。特に、経口移行群において栄養・食事の計画がわかりにくい、胃ろうがあっても口から食べさせてほしいという要望が高かったものの口から食べられるようになった、食べる意欲が増えた、褥瘡がよくなつた、顔色がよくなつた、表情がよくなつた、笑顔が増えた、会話が増えたなどの満足度が高かつたことから、平成19年度調査結果を生かし、経口維持・経口移行への支援、より常食に近い状態の食形態で食べられるように維持・改善することを目標に栄養マネジメントに取り組んだ結果であり、今後は、介護度別、栄養補給法別、食形態別の調査結果の観点から利用者の個々の状況に応じた栄養マネジメントを実施するためのガイドラインを作成し、栄養マネジメントの充実を図る必要があることを明確に示したものと考えられた。栄養マネジメントを充実させるためには、利用者との連携を十分に取る必要があり、認知症の利用者が増加している状況から認知症におけるコミュニケーション技術も高めつつ、栄養マネジメントの質、ひいては利用者のQOLを高めることができるような研修事業を展開することが重要であると考える。

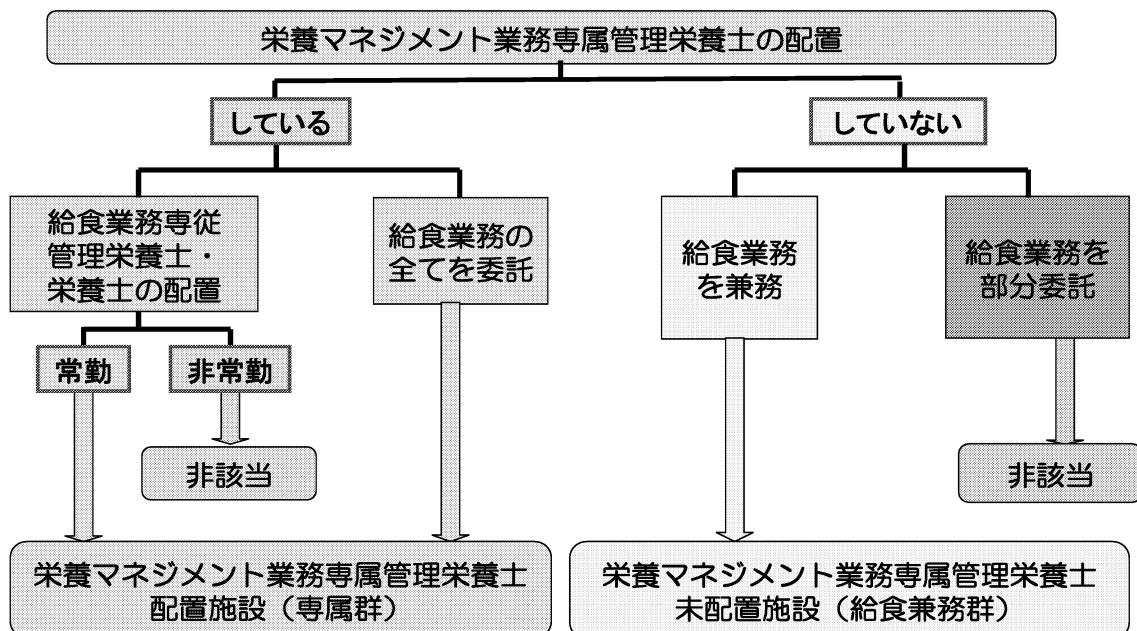


図1. 介護保険施設における栄養マネジメントの  
管理栄養士業務の階層化と調査対象施設区分

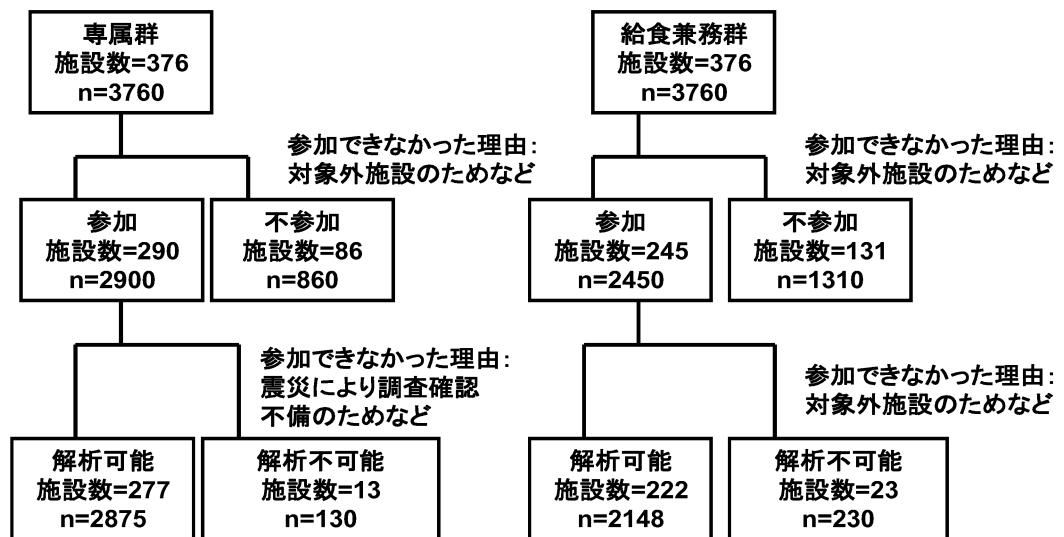


図2. 調査・解析の流れ

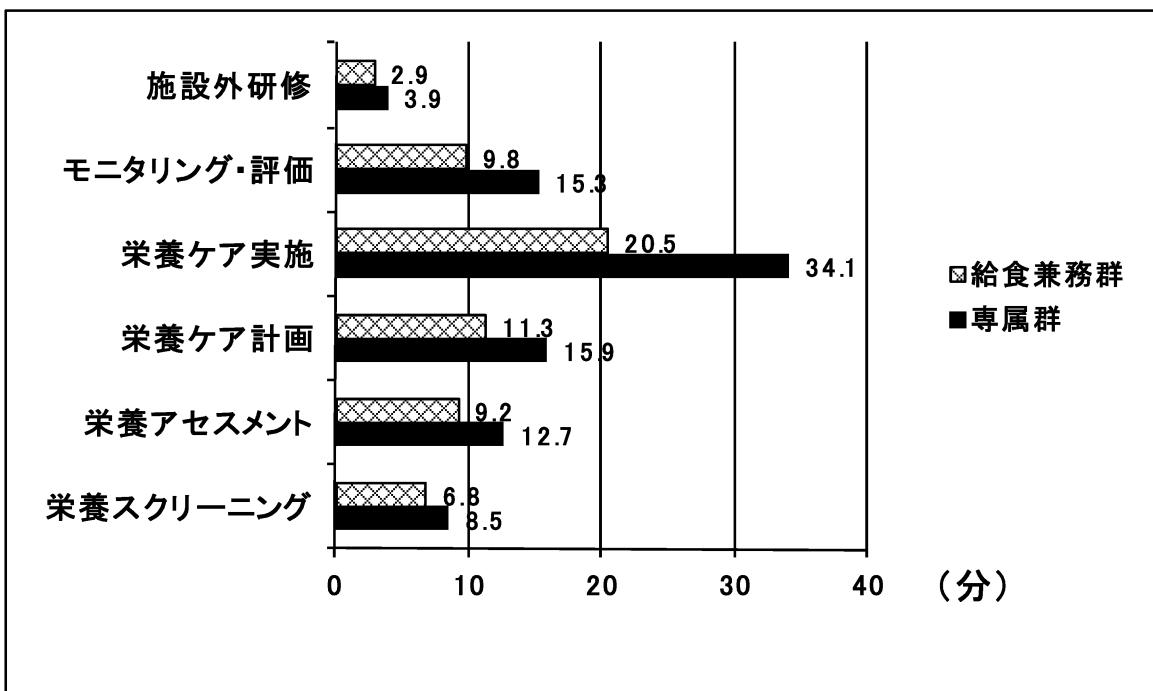


図3. 介護保険施設における栄養マネジメント業務量(分／現入所者 1カ月 1人当たり)

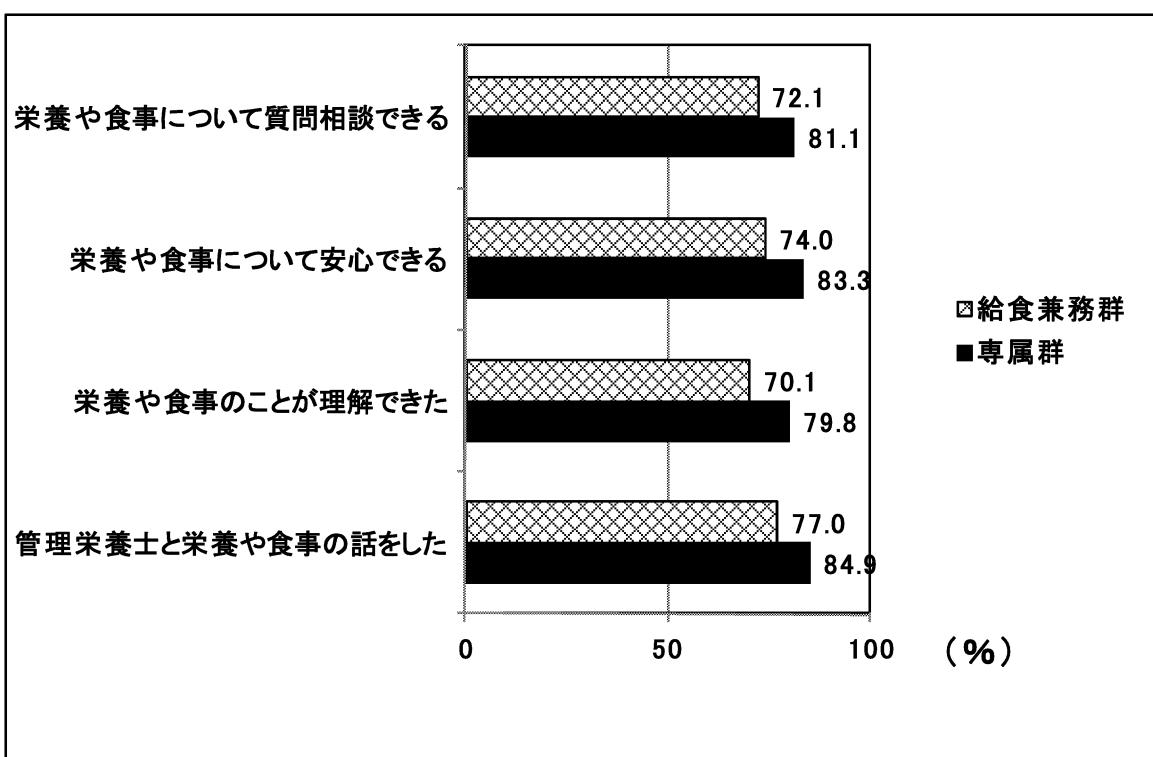


図4-1. 利用者と家族の実態およびニーズ(専属群 VS 給食兼務群)

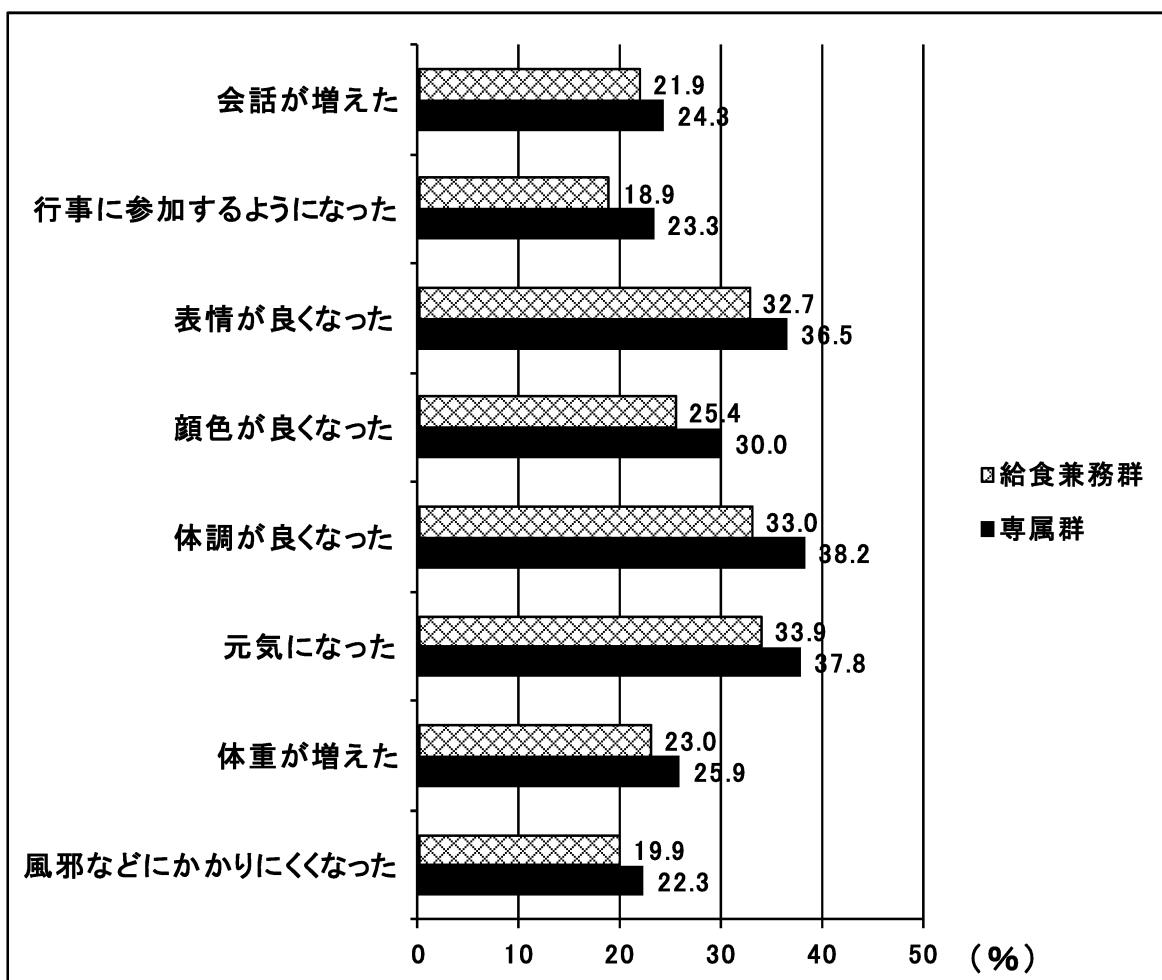


図4-2. 利用者と家族の実態およびニーズ(専属群 VS 給食兼務群)

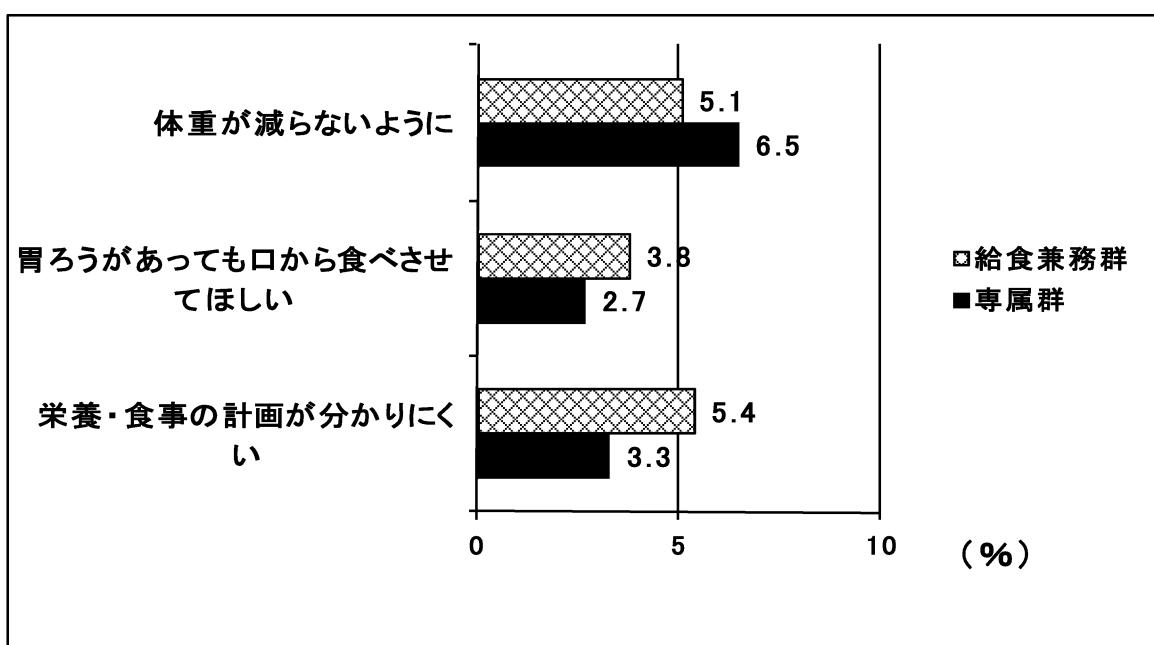


図4-3. 利用者と家族の実態およびニーズ(専属群 VS 給食兼務群)

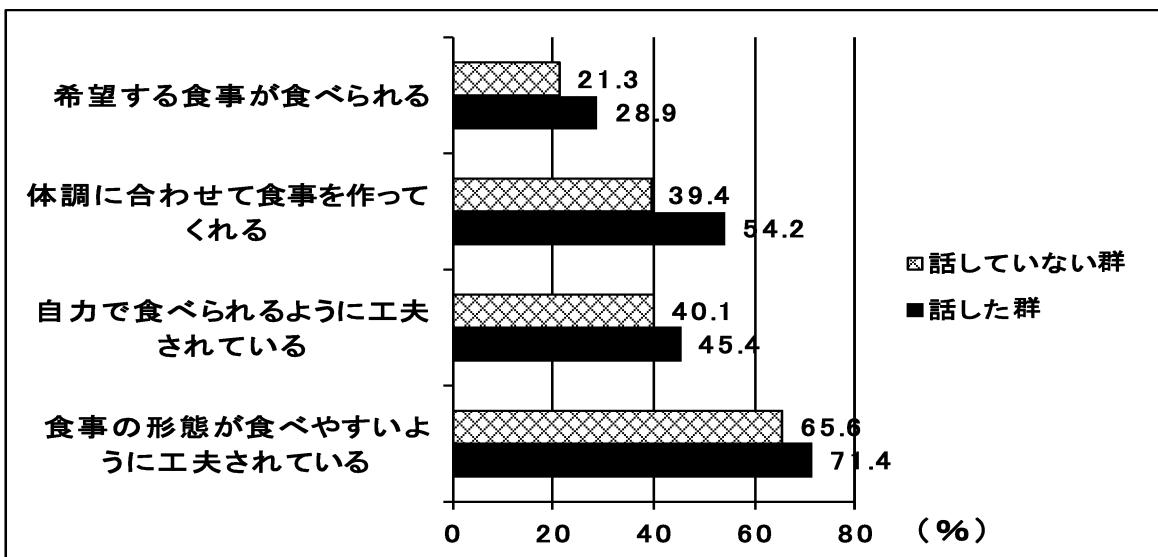


図5-1. 利用者と家族の実態およびニーズ(話した群 VS 話していない群)

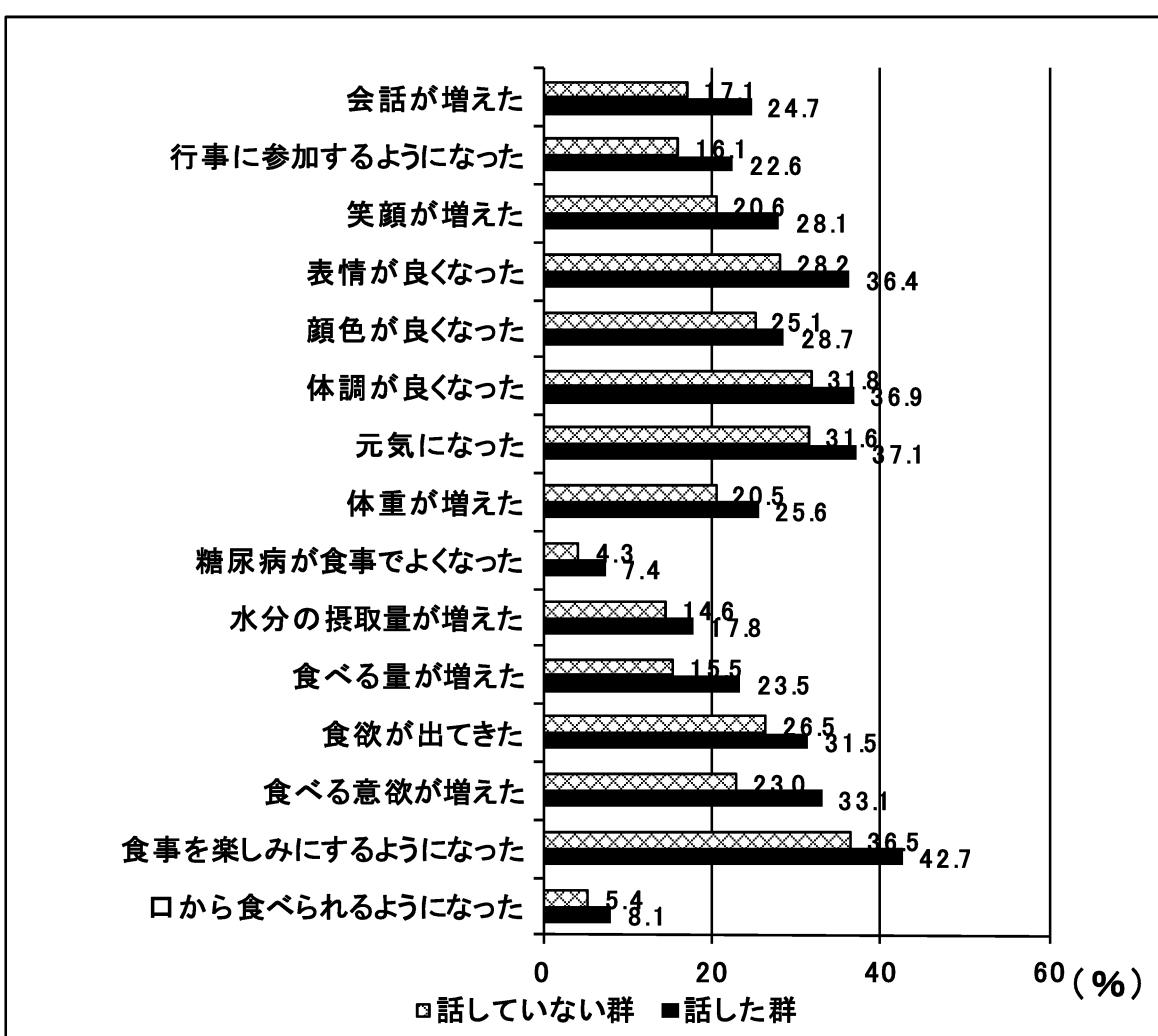


図5-2. 利用者と家族の実態およびニーズ(話した群 VS 話していない群)

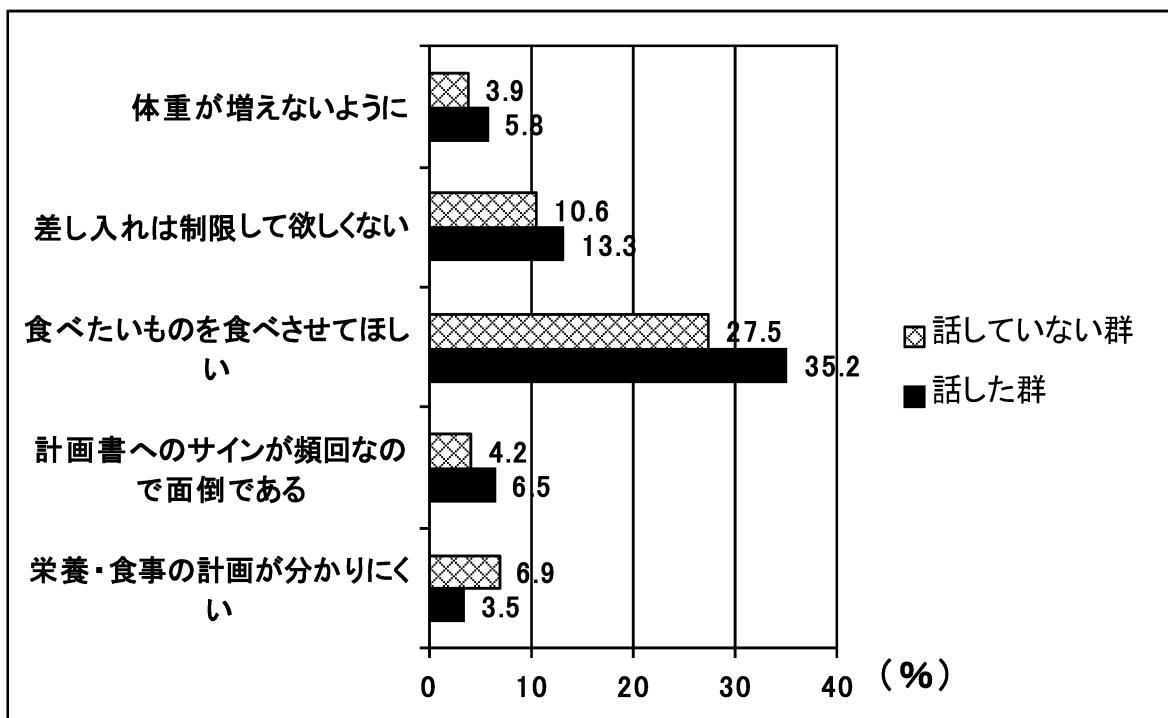


図5-3. 利用者と家族の実態およびニーズ(話した群 VS 話していない群)

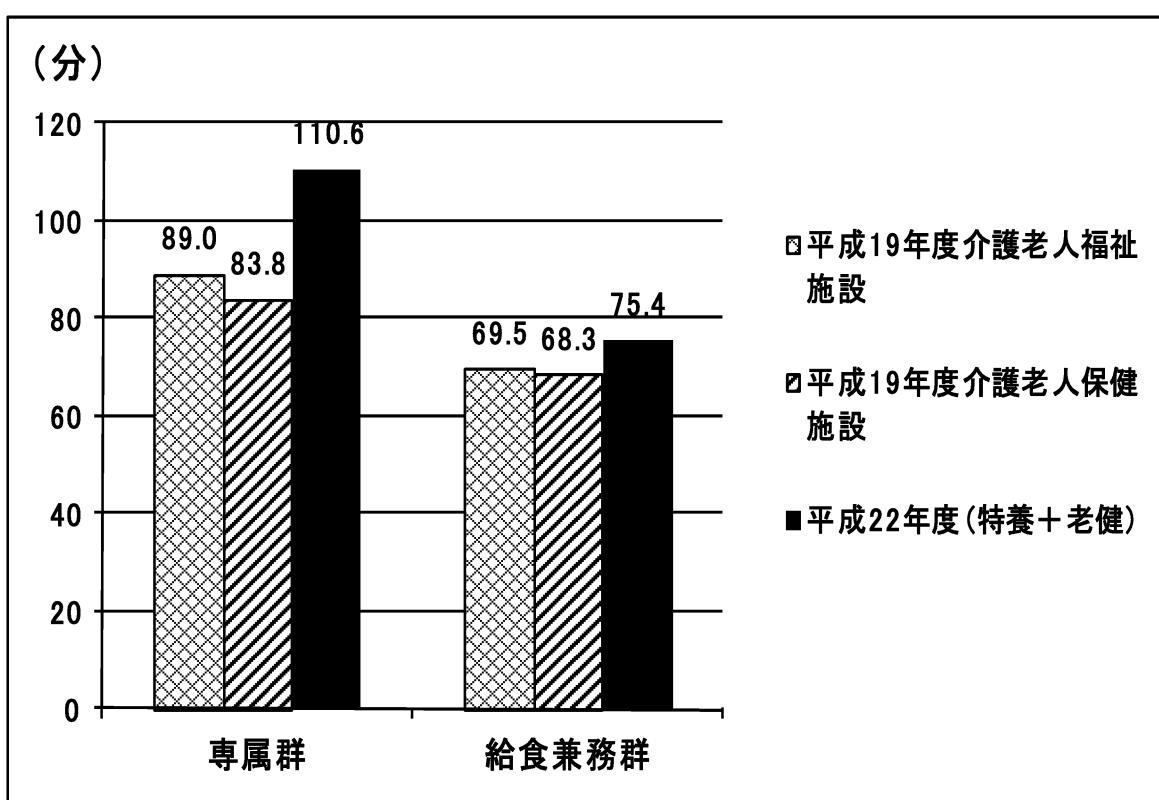


表6. 栄養マネジメント業務量の平成19年度と平成22年度の比較  
(分／現入所者1カ月1人当たり)

表題一覧

表1-1	栄養マネジメントの業務(基本項目)の集計(専属群および給食兼務群)
表1-2	入居者の介護度および食事方法の集計
表2	介護老人福祉施設における栄養マネジメント業務量(分/現入所者1カ月1人当たり)の集計
表3-1	実態およびニーズ調査対象者の身体特性(専属群および給食兼務群、男女別)
表3-2	実態およびニーズ調査の集計(専属群および給食兼務群)
表4-1	実態およびニーズ調査対象者の身体特性(給食業務直営群および全面委託群、男女別)
表4-2	実態およびニーズ調査の集計(給食業務直営群および全面委託群)
表5-1	実態およびニーズ調査対象者の身体特性(介護度群別、男女別)
表5-2	実態およびニーズ調査の集計(介護度群別)
表6-1	実態およびニーズ調査対象者の身体特性(栄養補給法群別、男女別)
表6-2	実態およびニーズ調査の集計(栄養補給法群別)
表7-1	実態およびニーズ調査対象者の身体特性(食形態群別、男女別)
表7-2	実態およびニーズ調査の集計(食形態群別)
表8-1	実態およびニーズ調査対象者の身体特性(管理栄養士と栄養や食事について話した群および話していない群、男女別)
表8-2	実態およびニーズ調査の集計(管理栄養士と栄養や食事について話した群および話していない群)
表8-3	実態およびニーズ調査対象者の身体特性(管理栄養士と栄養や食事について話した群の専属群および給食兼務群、男女別)
表8-4	実態およびニーズ調査の集計(管理栄養士と栄養や食事について話した群の専属群および給食兼務群)
表8-5	実態およびニーズ調査対象者の身体特性(管理栄養士と栄養や食事について話していない群の専属群および給食兼務群、男女別)
表8-6	実態およびニーズ調査の集計(管理栄養士と栄養や食事について話していない群の専属群および給食兼務群)

表1-1 栄養マネジメントの業務(基本項目)の集計(専属群および給食兼務群)

基本項目	専属群 <sup>1)</sup> n=277		給食兼務群 <sup>2)</sup> n=222		p値
		平均値	標準偏差	平均値	
				標準偏差	
入所者定員 <sup>3)</sup>	人	87.7	29.8	72.6	22.9 <.0001
現入所者数 <sup>3)</sup>	人	83.8	28.9	70.0	22.0 <.0001
新入所者数 <sup>3)</sup>	人	5.7	8.8	4.1	7.7 0.0330
退所者数 <sup>3)</sup>	人	5.4	9.1	4.2	8.3 0.1504
医療機関入院者数 <sup>3)</sup>	人	3.7	3.1	3.2	2.9 0.0724
医療機関退院者数 <sup>3)</sup>	人	2.7	2.9	2.2	2.7 0.0448
サービス担当者会議件数 <sup>3)</sup>	回	22.9	21.4	15.0	12.8 <.0001
栄養マネジメントの説明・同意者数 <sup>3)</sup>	人	14.8	13.8	11.4	12.5 0.0047
行事食(イベント食)の回数 <sup>3)</sup>	回	3.7	3.4	3.3	2.9 0.2290
栄養マネジメント業務 <sup>4)</sup>	人		%	人	%
専属	施設数	277	100.0	0	0.0 <.0001
給食業務と兼務	施設数	0	0.0	222	100.0
その他	施設数	-	-	-	-
栄養マネジメント事務業務 <sup>4)</sup>	施設数			施設数	
パソコン	244	88.1		198	89.2 0.8839
手書き	施設数	31	11.2	23	10.4
その他	施設数	2	0.7	1	0.5
栄養ケア計画・経過記録 <sup>4)</sup>	施設数			施設数	
栄養マネジメントとして独自作成	240	86.6		187	84.2 0.4467
施設数ケアプラン・個別記録に記入	施設数	37	13.4	35	15.8
給食業務の形態 <sup>4)</sup>	施設数			施設数	
直営	98	35.4		222	100.0 <.0001
全面委託	施設数	179	64.6	0	0.0
一部委託	施設数	-	-	-	-
その他	施設数	-	-	-	-
勤務形態 <sup>4)</sup>	施設数			施設数	
常勤	277	100.0		222	100.0 -
非常勤	施設数	-	-	-	-
雇用形態 <sup>4)</sup>	施設数			施設数	
施設数職員	277	100.0		222	100.0 -
受託会社職員	施設数	-	-	-	-
併設事業 <sup>4)</sup>	施設数			施設数	
通所介護通所介護	137	49.5		122	55.0 0.2220
通所リハビリテーション	施設数	120	43.3	57	25.7 <.0001
居宅支援事業所	施設数	186	67.2	156	70.3 0.4554
地域包括支援センター	施設数	52	18.8	45	20.3 0.6744
その他	施設数	70	25.3	90	40.5 0.0003

栄養改善の加算申請	4)	人	%	人	%	
		施設数	31	11.2	23	10.4
		施設数	22	7.9	18	8.1
		施設数	47	17.0	16	7.2
		施設数	36	13.0	11	5.0
栄養改善の取組実績	3)	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	
		人	0.2	1.8	0.0	0.3
		人	0.0	0.4	0.0	0.2
		人	0.1	0.6	0.0	0.1
		人	0.0	0.4	0.0	0.4
その他の加算申請	4)	人	%	人	%	
		施設数	53	19.1	30	13.5
		施設数	103	37.2	55	24.8
		施設数	68	24.6	32	14.4
		施設数	243	87.7	173	77.9
その他の加算実績	3)	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	
		人	0.1	0.8	0.6	3.7
		人	2.7	7.9	1.3	3.7
		人	0.2	0.7	0.1	0.6
		人	16.9	18.2	10.6	14.6
看取り介護加算申請	4)	人	%	人	%	
		施設数	142	51.3	110	49.6
看取り実施件数	3)	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	
		人	0.5	1.4	0.5	1.2
インシデント(ヒヤリ・ハット)の回数	3)	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	
		回	0.9	2.5	0.8	1.6
アクシデント(事故報告)の回数	3)	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	
		回	0.2	1.7	0.1	0.5

1)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて栄養マネジメント業務に専属従事者がいる施設数

2)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて栄養マネジメント業務と給食業務を兼務している者がいる施設数

3)一施設当たりの平均人数および標準偏差、Student-t検定

4)各群の全施設数に対する施設数および比率、 $\chi^2$ 二乗検定

表1-2 入居者の介護度および食事方法の集計

介護度	3)	専属群 <sup>1)</sup> n=277		給食兼務群 <sup>2)</sup> n=222		p値
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	
		人	人	人	人	
要支援1		0.0	0.0	0.0	0.1	0.1578
要支援2		0.0	0.5	0.0	0.2	0.5366
要介護1		5.3	5.6	3.7	4.5	0.0006
要介護2		11.2	8.5	7.7	6.4	<.0001
要介護3		19.1	9.3	14.6	7.3	<.0001
要介護4		24.7	10.1	20.3	8.3	<.0001
要介護5		24.2	13.4	23.8	11.7	0.7047
栄養補給法	3)	人	人	人	人	
経口		76.8	28.1	62.0	20.1	<.0001
非経口		7.6	6.7	8.2	6.9	0.3464
経口内訳	3)	人	人	人	人	
常食		27.9	18.3	19.1	12.7	<.0001
軟食		31.9	19.2	26.6	15.4	0.0005
ミキサー食		17.0	13.8	16.4	12.4	0.6118
食事介助	3)	人	人	人	人	
自力		47.5	22.2	35.5	17.7	<.0001
一部介助		15.8	9.8	13.8	8.7	0.0135
全介助		13.5	8.1	12.8	6.9	0.3134

1)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて栄養マネジメント業務に専属従事者がいる施設数

2)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて栄養マネジメント業務と給食業務を兼務している者がいる施設数

3)一施設当たりの平均人数および標準偏差、Student-t検定

表2 介護老人福祉施設における栄養マネジメント業務量(分/現入所者1カ月1人当たり)の集計

業務項目		専属群 <sup>1)</sup> n=277		給食兼務群 <sup>2)</sup> n=222		p値 <sup>3)</sup>
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	
フェースシート作成						
情報収集	分	1.3	2.3	1.1	2.6	0.3292
書類作成	分	1.0	1.8	0.9	2.2	0.6669
小計	分	2.3	3.8	2.1	4.5	0.4394
栄養スクリーニング						
情報収集	分	4.4	3.6	3.4	2.9	0.0006
書類作成	分	4.1	3.4	3.4	3.5	0.0165
小計	分	8.5	6.3	6.8	5.6	0.0013
栄養アセスメント						
情報収集	分	6.5	5.1	4.6	3.8	<.0001
書類作成	分	6.2	4.6	4.6	3.7	<.0001
小計	分	12.7	8.2	9.2	6.6	<.0001
栄養ケア計画書						
書類作成	分	8.2	6.4	5.8	4.2	<.0001
サービス担当者会議	分	6.1	4.0	4.5	3.1	<.0001
説明と同意	分	1.7	1.9	1.0	1.4	<.0001
小計	分	15.9	8.9	11.3	6.4	<.0001
実施						
食事オーダーリング	分	6.2	6.3	3.8	5.2	<.0001
栄養ケアの実施	分	11.1	10.6	7.0	7.6	<.0001
栄養ケアの内容確認	分	7.0	8.2	3.7	4.2	<.0001
食事・栄養指導	分	2.0	3.0	1.0	1.7	<.0001
ケア経過記録	分	7.9	6.9	5.0	5.1	<.0001
小計	分	34.1	22.7	20.5	14.7	<.0001
モニタリング・評価						
情報収集と整理	分	7.1	5.0	4.8	4.9	<.0001
書類作成	分	8.1	6.7	4.9	4.6	<.0001
小計	分	15.3	9.7	9.8	8.5	<.0001
会議						
施設内会議	分	5.3	5.3	5.6	5.3	0.4914
施設外会議	分	0.5	1.2	0.5	1.6	0.6743
小計	分	5.8	5.6	6.1	5.8	0.5838
研修						
施設内研修	分	0.9	1.4	0.9	1.5	0.9845
施設外研修	分	3.9	5.0	2.9	5.2	0.0398
小計	分	4.8	5.2	3.8	5.5	0.0477
指導・教育						
施設内	分	1.0	3.1	0.6	1.7	0.0727
施設外	分	3.2	41.5	0.4	1.9	0.2644
小計	分	4.1	41.7	1.0	2.5	0.2062
栄養マネジメント業務総計 <sup>4)</sup>	分	110.6	59.8	75.4	36.3	<.0001
給食業務						
食事提供業務	分	17.9	17.8	83.6	50.7	<.0001
給食従事者への指導・教育	分	3.3	4.9	3.9	4.7	0.1219
小計	分	21.1	19.0	87.5	51.6	<.0001
在宅に係る業務						
通所の栄養改善	分	0.8	2.6	0.5	1.5	0.0561
その他	分	1.9	4.5	1.4	3.5	0.1408
小計	分	2.8	5.6	1.9	3.9	0.0387
その他						
合計	分	25.5	25.1	24.2	40.5	0.6958
		152.8	69.0	184.2	80.2	<.0001

1)介護老人福祉施設にて栄養マネジメント業務に専属従事者がいる施設

2)介護老人福祉施設にて栄養マネジメント業務と給食業務を兼務している者がいる施設

3)Student-t検定

4)フェイスシート作成より指導・教育の小計の合計値

表3-1 実態およびニーズ調査対象者の身体特性(専属群および給食兼務群、男女別)

		専属群 <sup>1)</sup> n=2875		給食兼務群 <sup>2)</sup> n=2148	
		平均 n=707	標準偏差	平均 n=488	標準偏差
年齢	歳	80.5	9.8	81.6	9.0
身長	cm	159.2	7.8	158.1	8.1
体重	kg	52.8	9.1	51.8	9.4
BMI	kg/cm <sup>2</sup>	20.8	3.2	20.7	3.4
<b>女性</b>		n=2168		n=1660	
年齢	歳	87.0	8.0	87.1	7.8
身長	cm	144.9	7.0	144.6	7.7
体重	kg	43.6	8.5	44.0	8.8
BMI	kg/cm <sup>2</sup>	20.8	3.6	21.0	4.0

1)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて栄養マネジメント業務に専属従事者がいる施設に入所している対象者

2)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて栄養マネジメント業務と給食業務を兼務している者がいる施設に入所している対象者

表3-2 実態およびニーズ調査の集計(専属群および給食兼務群)

	専属群 <sup>1)</sup> n=2875		給食兼務群 <sup>2)</sup> n=2148		p値 <sup>3)</sup>
	人	%	人	%	
<b>現在の介護度</b>					
要介護1	247	8.6	187	8.7	0.5777
要介護2	489	17.0	333	15.5	
要介護3	683	23.8	526	24.5	
要介護4	813	28.3	596	27.8	
要介護5	643	22.4	506	23.6	
<b>現在の褥瘡状態</b>					
あり	77	2.7	63	2.9	0.5874
なし	2798	97.3	2085	97.1	
<b>現在の栄養補給</b>					
口から食べる	2729	94.9	2009	93.5	0.0695
胃ろう・経管栄養	114	4.0	102	4.8	
口から食べられるように訓練をしている	32	1.1	37	1.7	
<b>現在の食形態<sup>4)</sup></b>					
常食	1130	39.3	789	36.7	0.0966
軟食	478	16.6	369	17.2	
きざみ食(ミキサー食含む)	930	32.4	745	34.7	
ゼリー食(ムース食含む)	223	7.8	143	6.7	
<b>管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか</b>					
はい	2442	84.9	1653	77.0	<.0001
いいえ	433	15.1	495	23.0	
<b>管理栄養士とお話をして栄養や食事のことが理解できてよかったです<sup>5)</sup></b>					
はい	2295	79.8	1506	70.1	0.0005
いいえ	147	5.1	147	6.8	
<b>管理栄養士が関わっているので栄養や食事について安心できる<sup>5)</sup></b>					
はい	2396	83.3	1590	74.0	0.0002
いいえ	46	1.6	63	2.9	
<b>管理栄養士に栄養や食事に関することの質問や相談ができるのでよかったです<sup>5)</sup></b>					
はい	2332	81.1	1549	72.1	0.0117
いいえ	110	3.8	104	4.8	
<b>栄養マネジメントが実施されたことでよかったですと思われること</b>					
<b>実施内容について</b>					
食事の形態が食べやすいように工夫されている	2038	70.9	1495	69.6	0.3231
自力で食べられるように工夫されている	1302	45.3	930	43.3	0.1601
体調に合わせて食事を作ってくれる	1501	52.2	1084	50.5	0.2214
希望する食事が食べられる	801	27.9	581	27.1	0.5235

利用者の変化について

口から食べられるようになった	219	7.6	162	7.5	0.9204
食事を楽しみにするようになった	1213	42.2	876	40.8	0.3161
食べる意欲が増えた	925	32.2	644	30.0	0.0972
食欲が出てきた	899	31.3	636	29.6	0.2062
食べる量が増えた	643	22.4	464	21.6	0.5183
水分の摂取量が増えた	499	17.4	364	17.0	0.7028
風邪などにかかりにくくなった	641	22.3	428	19.9	0.0423
糖尿病等が食事で良くなった	207	7.2	137	6.4	0.2538
褥瘡が良くなった	106	3.7	82	3.8	0.8094
体重が増えた	744	25.9	493	23.0	0.0172
体重が減った	260	9.0	166	7.7	0.0978
元気になった	1086	37.8	727	33.9	0.0041
体調が良くなった	1099	38.2	708	33.0	0.0001
顔色が良くなった	863	30.0	545	25.4	0.0003
表情が良くなった	1048	36.5	703	32.7	0.0061
笑顔が増えた	788	27.4	555	25.8	0.2134
行事に参加するようになった	670	23.3	406	18.9	0.0002
会話が増えた	699	24.3	470	21.9	0.0436

栄養・食事の計画や実施に対する要望等

栄養・食事の計画が分かりにくい	94	3.3	115	5.4	0.0003
胃ろうがあっても口から食べさせほしい	78	2.7	81	3.8	0.0341
ミキサーではなく形のあるものを食べさせてほしい	152	5.3	109	5.1	0.7371
計画書へのサインが頻回なので面倒である	170	5.9	136	6.3	0.5396
食べたいものを食べさせてほしい	944	32.8	751	35.0	0.1146
差し入れは制限して欲しくない	361	12.6	280	13.0	0.6148
体重が増えない	149	5.2	123	5.7	0.3996
体重が減らない	188	6.5	110	5.1	0.0353

1)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて栄養マネジメント業務に専属従事者がいる施設に入所している対象者

2)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて栄養マネジメント業務と給食業務を兼務している者がいる施設に入所している対象者

3)  $\chi^2$ 二乗検定

4)現在の栄養補給法にて「胃ろう・経管栄養」と回答した者を除く

5)「管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか」「はい」と回答した者のみ

表4-1 実態およびニーズ調査対象者の身体特性(給食業務直営群および全面委託群、男女別)

性別		直営群 <sup>1)</sup>		全面委託群 <sup>2)</sup>	
		n=3209		n=1814	
		平均	標準偏差	平均	標準偏差
男性	n=750			n=445	
年齢	歳	81.3	9.4	80.3	9.5
身長	cm	158.6	8.1	159.0	7.7
体重	kg	52.1	9.4	52.9	9.0
BMI	kg/cm <sup>2</sup>	20.7	3.4	20.9	3.1
女性	n=2454			n=1369	
年齢	歳	87.1	7.8	86.9	8.0
身長	cm	144.6	7.6	145.0	6.8
体重	kg	43.9	8.8	43.5	8.3
BMI	kg/cm <sup>2</sup>	21.0	3.9	20.7	3.6

1)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて給食業務を直営にて行っている施設

2)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて給食業務を全面委託している施設

表4-2 実態およびニーズ調査の集計(給食業務直営群および全面委託群)

	直営群 <sup>1)</sup> n=3209		全面委託群 <sup>2)</sup> n=1814		p値 <sup>3)</sup>
	人	%	人	%	
現在の介護度					
要介護1	266	8.3	168	9.3	0.6009
要介護2	519	16.2	303	16.7	
要介護3	769	24.0	440	24.3	
要介護4	903	28.1	506	27.9	
要介護5	752	23.4	397	21.9	
現在の褥瘡状態					
あり	92	2.9	48	2.7	0.6479
なし	3117	97.1	1766	97.4	
現在の栄養補給					
口から食べる	3012	93.9	1726	95.2	0.1332
胃ろう・経管栄養	147	4.6	69	3.8	
口から食べられるように訓練をしている	50	1.6	19	1.1	
現在の食形態 <sup>4)</sup>					
常食	1193	37.2	726	40.0	0.1993
軟食	555	17.3	292	16.1	
きざみ食(ミキサー食含む)	1087	33.9	588	32.4	
ゼリー食(ムース食含む)	227	7.1	139	7.7	
管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか					
はい	2504	78.0	1591	87.7	<.0001
いいえ	705	22.0	223	12.3	
管理栄養士とお話をして栄養や食事のことが理解できてよかったです <sup>5)</sup>					
はい	2310	72.0	1491	82.2	0.0773
いいえ	194	6.1	100	5.5	
管理栄養士が関わっているので栄養や食事について安心できる <sup>5)</sup>					
はい	2430	75.7	1556	85.8	0.1433
いいえ	74	2.3	35	1.9	
管理栄養士に栄養や食事に関することの質問や相談ができるのでよかったです <sup>5)</sup>					
はい	2358	73.5	1523	84.0	0.0291
いいえ	146	4.6	68	3.8	
栄養マネジメントが実施されたことでよかったですと思われること					
実施内容について					
食事の形態が食べやすいように工夫されている	2239	69.8	1294	71.3	0.2445
自力で食べられるように工夫されている	1403	43.7	829	45.7	0.1751
体調に合わせて食事を作ってくれる	1647	51.3	938	51.7	0.7934
希望する食事が食べられる	871	27.1	511	28.2	0.4335
利用者の変化について					
口から食べられるようになった	245	7.6	136	7.5	0.8596
食事を楽しみにするようになった	1320	41.1	769	42.4	0.3848
食べる意欲が増えた	971	30.3	598	33.0	0.0468
食欲が出てきた	952	29.7	583	32.1	0.0677
食べる量が増えた	685	21.4	422	23.3	0.1153
水分の摂取量が増えた	565	17.6	298	16.4	0.2873
風邪などにかかりにくくなった	695	21.7	374	20.6	0.3869
糖尿病等が食事で良くなった	215	6.7	129	7.1	0.5792

褥瘡が良くなった	115	3.6	73	4.0	0.4294
体重が増えた	750	23.4	487	26.9	0.006
体重が減った	275	8.6	151	8.3	0.7642
元気になった	1121	34.9	692	38.2	0.0227
体調が良くなった	1125	35.1	682	37.6	0.0717
顔色が良くなった	884	27.6	524	28.9	0.3102
表情が良くなった	1096	34.2	655	36.1	0.1627
笑顔が増えた	857	26.7	486	26.8	0.9476
行事に参加するようになった	667	20.8	409	22.6	0.1438
会話が増えた	751	23.4	418	23.0	0.7718
<b>栄養・食事の計画や実施に対する要望等</b>					
栄養・食事の計画が分かりにくい	149	4.6	60	3.3	0.0228
胃ろうがあっても口から食べさせほしい	112	3.5	47	2.6	0.0804
ミキサーではなく形のあるものを食べさせてほしい	169	5.3	92	5.1	0.7651
計画書へのサインが頻回なので面倒である	191	6.0	115	6.3	0.5812
食べたいものを食べさせてほしい	1059	33.0	636	35.1	0.1381
差し入れは制限して欲しくない	405	12.6	236	13.0	0.6913
体重が増えない	182	5.7	90	5.0	0.2854
体重が減らない	188	5.9	110	6.1	0.7672

1)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて給食業務を直営にて行っている施設

2)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて給食業務を全面委託している施設

3)χ二乗検定

4)現在の栄養補給法にて「胃ろう・経管栄養」と回答した者を除く

5)「管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか」に「はい」と回答した者のみ

表5-1 実態およびニーズ調査対象者の身体特性(介護度群別、男女別)

性別	介護度1 n=434		介護度2 n=822		介護度3 n=1209		介護度4 n=1409		介護度5 n=1149	
	平均 n=92	標準偏差 n=92	平均 n=195	標準偏差 n=195	平均 n=282	標準偏差 n=282	平均 n=357	標準偏差 n=357	平均 n=269	標準偏差 n=269
年齢 歳	78.6	10.4	80.1	10.1	81.4	8.9	81.1	9.2	81.6	9.6
身長 cm	159.1	7.4	159.2	7.6	158.6	7.8	158.6	8.5	158.8	7.8
体重 kg	56.7	7.9	55.1	9.6	53.7	9.6	52.1	8.9	48.0	7.7
BMI kg/cm <sup>2</sup>	22.4	2.7	21.7	3.1	21.3	3.5	20.7	3.2	19.1	2.8
女性	n=342		n=627		n=927		n=1052		n=880	
年齢 歳	85.7	7.6	86.3	7.7	86.9	7.6	87.9	7.9	87.2	8.4
身長 cm	145.7	6.6	144.6	7.1	145.1	7.0	144.7	7.3	144.1	8.0
体重 kg	45.9	8.7	46.0	8.7	45.2	8.9	43.1	8.5	40.6	7.3
BMI kg/cm <sup>2</sup>	21.6	3.8	22.0	3.8	21.4	3.8	20.6	3.7	19.6	3.5

表5-2 実態およびニーズ調査の集計(介護度群別)

	介護度1 n=434		介護度2 n=822		介護度3 n=1209		介護度4 n=1409		介護度5 n=1149		p値 <sup>1)</sup>
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
現在の介護度											
要介護1	434	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
要介護2	-	-	822	100.0	-	-	-	-	-	-	-
要介護3	-	-	-	-	1209	100.0	-	-	-	-	-
要介護4	-	-	-	-	-	-	1409	100.0	-	-	-
要介護5	-	-	-	-	-	-	-	-	1149	100.0	-
現在の褥瘡状態											
あり	3	0.7	10	1.2	17	1.4	49	3.5	61	5.3	<.0001
なし	431	99.3	812	98.8	1192	98.6	1360	96.5	1088	94.7	
現在の栄養補給											
口から食べる	434	100.0	821	99.9	1202	99.4	1359	96.5	922	80.2	<.0001
胃ろう・経管栄養	0	0.0	0	0.0	3	0.3	33	2.3	180	15.7	
口から食べられるように訓練をしている	0	0.0	1	0.1	4	0.3	17	1.2	47	4.1	
現在の食形態 <sup>2)</sup>											
常食	303	69.8	508	61.8	588	48.6	410	29.1	110	9.6	<.0001
軟食	72	16.6	156	19.0	238	19.7	257	18.2	124	10.8	
きざみ食(ミキサー食含む)	58	13.4	151	18.4	351	29.0	585	41.5	530	46.1	
ゼリー食(ムース食含む)	1	0.2	7	0.9	29	2.4	124	8.8	205	17.8	
管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか											
はい	349	80.4	676	82.2	1000	82.7	1156	82.0	914	79.6	0.2872
いいえ	85	19.6	146	17.8	209	17.3	253	18.0	235	20.5	
管理栄養士とお話をして栄養や食事のことが理解できてよかったです <sup>3)</sup>											
はい	312	71.9	623	75.8	918	75.9	1077	76.4	871	75.8	0.0022
いいえ	37	8.5	53	6.5	82	6.8	79	5.6	43	3.7	
管理栄養士が関わっているので栄養や食事について安心できる <sup>3)</sup>											
はい	343	79.0	658	80.1	961	79.5	1130	80.2	894	77.8	0.0700
いいえ	6	1.4	18	2.2	39	3.2	26	1.9	20	1.7	
管理栄養士に栄養や食事に関する質問や相談ができるのでよかったです <sup>3)</sup>											
はい	332	76.5	637	77.5	927	76.7	1101	78.1	884	76.9	0.0022
いいえ	17	3.9	39	4.7	73	6.0	55	3.9	30	2.6	
栄養マネジメントが実施されたことでよかったですと思われること											
実施内容について											
食事の形態が食べやすいように工夫されている	293	67.5	522	63.5	844	69.8	1055	74.9	819	71.3	<.0001
自力で食べられるように工夫されている	167	38.5	345	42.0	599	49.6	733	52.0	388	33.8	<.0001
体調に合わせて食事を作ってくれる	219	50.5	431	52.4	612	50.6	749	53.2	574	50.0	0.4789
希望する食事が食べられる	141	32.5	307	37.4	361	29.9	367	26.1	206	17.9	<.0001
利用者の変化について											
口から食べられるようになった	11	2.5	24	2.9	63	5.2	122	8.7	161	14.0	<.0001
食事を楽しみにするようになった	242	55.8	428	52.1	586	48.5	569	40.4	264	23.0	<.0001
食べる意欲が増えた	128	29.5	262	31.9	382	31.6	480	34.1	317	27.6	0.0103
食欲が出てきた	150	34.6	244	29.7	389	32.2	455	32.3	297	25.9	0.0008
食べる量が増えた	83	19.1	176	21.4	268	22.2	322	22.9	258	22.5	0.5570
水分の摂取量が増えた	81	18.7	133	16.2	217	18.0	245	17.4	187	16.3	0.6527
風邪などにかかりにくくなった	99	22.8	192	23.4	280	23.2	293	20.8	205	17.8	0.0088
糖尿病等が食事で良くなった	34	7.8	67	8.2	99	8.2	94	6.7	50	4.4	0.0015
褥瘡が良くなった	3	0.7	9	1.1	25	2.1	64	4.5	87	7.6	<.0001
体重が増えた	120	27.7	211	25.7	291	24.1	332	23.6	283	24.6	0.4511
体重が減った	43	9.9	91	11.1	111	9.2	100	7.1	81	7.1	0.0037
元気になった	163	37.6	336	40.9	458	37.9	509	36.1	347	30.2	<.0001
体調が良くなった	153	35.3	311	37.8	448	37.1	517	36.7	378	32.9	0.1368
顔色が良くなった	95	21.9	179	21.8	309	25.6	443	31.4	382	33.3	<.0001
表情が良くなった	143	33.0	256	31.1	419	34.7	516	36.6	417	36.3	0.0695
笑顔が増えた	115	26.5	230	28.0	338	28.0	384	27.3	276	24.0	0.1919
行事に参加するようになった	123	28.3	224	27.3	294	24.3	291	20.7	144	12.5	<.0001
会話が増えた	124	28.6	216	26.3	315	26.1	314	22.3	200	17.4	<.0001
栄養・食事の計画や実施に対する要望等											
栄養・食事の計画が分かりにくい	23	5.3	38	4.6	55	4.6	56	4.0	37	3.2	0.2893
胃ろうがあっても口から食べさせほしい	2	0.5	4	0.5	13	1.1	42	3.0	98	8.5	<.0001
ミキサーではなく形のあるものを食べさせてほしい	7	1.6	28	3.4	47	3.9	95	6.7	84	7.3	<.0001
計画書へのサインが頻回なので面倒である	20	4.6	48	5.8	69	5.7	92	6.5	77	6.7	0.5102
食べたいものを食べさせてほしい	141	32.5	284	34.6	428	35.4	514	36.5	328	28.6	0.0004
差し入れは制限して欲しくない	67	15.4	128	15.6	157	13.0	179	12.7	110	9.6	0.0007
体重が増えない	26	6.0	54	6.6	65	5.4	88	6.3	39	3.4	0.0091
体重が減らない	23	5.3	52	6.3	63	5.2	97	6.9	63	5.5	0.3581

<sup>1)</sup>χ<sup>2</sup>二乗検定<sup>2)</sup>現在の栄養補給法にて「胃ろう・経管栄養」と回答した者を除く<sup>3)</sup>「管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか」に「はい」と回答した者のみ

表6-1 実態およびニーズ調査対象者の身体特性(栄養補給法群別、男女別)

性別		経口群 n=4738		胃ろう・ 経管栄養群 n=216		移行訓練群 n=69	
		平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
		n=1122		n=58		n=15	
年齢	歳	81.0	9.4	81.4	11.0	77.9	11.8
身長	cm	158.7	7.9	159.4	9.8	158.1	6.7
体重	kg	52.8	9.2	46.7	8.2	47.3	7.4
BMI	kg/cm <sup>2</sup>	20.9	3.3	18.4	3.2	18.9	2.6
女性		n=3612		n=158		n=54	
年齢	歳	87.1	7.9	87.3	8.0	86.6	6.7
身長	cm	144.8	7.3	143.6	8.3	144.4	7.0
体重	kg	44.0	8.6	39.8	7.4	39.6	7.0
BMI	kg/cm <sup>2</sup>	21.0	3.8	19.4	3.9	19.0	2.9

表6-2 実態およびニーズ調査の集計(栄養補給法群別)

	経口群		胃ろう・ 経管栄養群		移行訓練群		p値 <sup>1)</sup>
	n=4738	人	n=216	人	%	人	%
現在の介護度							
要介護1	434	9.2	0	0.0	0	0.0	<.0001
要介護2	821	17.3	0	0.0	1	1.5	
要介護3	1202	25.4	3	1.4	4	5.8	
要介護4	1359	28.7	33	15.3	17	24.6	
要介護5	922	19.5	180	83.3	47	68.1	
現在の褥瘡状態							
あり	122	2.6	15	6.9	3	4.4	0.0005
なし	4616	97.4	201	93.1	66	95.7	
現在の栄養補給							
口から食べる	4738	100.0	—	—	—	—	—
胃ろう・経管栄養	—	—	216	100.0	—	—	
口から食べられるように訓練をしている	—	—	—	—	69	100.0	
現在の食形態 <sup>2)</sup>							
常食	1918	40.5	—	—	1	1.5	<.0001
軟食	843	17.8	—	—	4	5.8	
きざみ食(ミキサー食含む)	1657	35.0	—	—	18	26.1	
ゼリー食(ムース食含む)	320	6.8	—	—	46	66.7	
管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか							
はい	3886	82.0	149	69.0	60	87.0	<.0001
いいえ	852	18.0	67	31.0	9	13.0	
管理栄養士とお話をして栄養や食事のことが理解できてよかったです <sup>3)</sup>							
はい	3600	76.0	143	66.2	58	84.1	0.1538
いいえ	286	6.0	6	2.8	2	2.9	
管理栄養士が関わっているので栄養や食事について安心できる <sup>3)</sup>							
はい	3784	79.9	145	67.1	57	82.6	0.5255
いいえ	102	2.2	4	1.9	3	4.4	
管理栄養士に栄養や食事に関する質問や相談ができるのでよかったです <sup>3)</sup>							
はい	3683	77.7	141	65.3	57	82.6	0.9938
いいえ	203	4.3	8	3.7	3	4.4	
栄養マネジメントが実施されたことでよかったですと思われること							
実施内容について							
食事の形態が食べやすいように工夫されている	3470	73.2	20	9.3	43	62.3	<.0001
自力で食べられるように工夫されている	2207	46.6	5	2.3	20	29.0	<.0001
体調に合わせて食事を作ってくれる	2524	53.3	36	16.7	25	36.2	<.0001
希望する食事が食べられる	1362	28.8	11	5.1	9	13.0	<.0001
利用者の変化について							
口から食べられるようになった	336	7.1	10	4.6	35	50.7	<.0001
食事を楽しみにするようになった	2071	43.7	3	1.4	15	21.7	<.0001
食べる意欲が増えた	1532	32.3	6	2.8	31	44.9	<.0001
食欲が出てきた	1513	31.9	4	1.9	18	26.1	<.0001
食べる量が増えた	1095	23.1	0	0.0	12	17.4	<.0001
水分の摂取量が増えた	844	17.8	11	5.1	8	11.6	<.0001
風邪などにかかりにくくなった	1038	21.9	27	12.5	4	5.8	<.0001
糖尿病等が食事で良くなった	340	7.2	1	0.5	3	4.4	0.0005
褥瘡が良くなった	166	3.5	15	6.9	7	10.1	0.0006
体重が増えた	1175	24.8	45	20.8	17	24.6	0.4167
体重が減った	410	8.7	13	6.0	3	4.4	0.1838

元気になった	1760	37.2	34	15.7	19	27.5	<.0001
体調が良くなった	1722	36.3	66	30.6	19	27.5	0.0755
顔色が良くなった	1314	27.7	63	29.2	31	44.9	0.0064
表情が良くなった	1663	35.1	54	25.0	34	49.3	0.0004
笑顔が増えた	1297	27.4	26	12.0	20	29.0	<.0001
行事に参加するようになった	1053	22.2	17	7.9	6	8.7	<.0001
会話が増えた	1128	23.8	20	9.3	21	30.4	<.0001
<b>栄養・食事の計画や実施に対する要望等</b>							
栄養・食事の計画が分かりにくい	199	4.2	8	3.7	2	2.9	0.8158
胃ろうがあっても口から食べさせほしい	56	1.2	67	31.0	36	52.2	<.0001
ミキサーではなく形のあるものを食べさせてほしい	249	5.3	3	1.4	9	13.0	0.0005
計画書へのサインが頻回なので面倒である	284	6.0	19	8.8	3	4.4	0.2011
食べたいものを食べさせてほしい	1656	35.0	21	9.7	18	26.1	<.0001
差し入れは制限して欲しくない	635	13.4	3	1.4	3	4.4	<.0001
体重が増えない	266	5.6	4	1.9	2	2.9	0.0374
体重が減らない	284	6.0	12	5.6	2	2.9	0.5419

1)  $\chi^2$ 二乗検定

2) 現在の栄養補給法にて「胃ろう・経管栄養」と回答した者を除く

3) 「管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか」に「はい」と回答した者のみ

表7-1 実態およびニーズ調査対象者の身体特性(食形態群別、男女別)

	常食群		軟食群		きざみ食群 (ミキサー食含む)		ゼリー食群 (ムース食含む)		
	n=1919		n=847		n=1675		n=366		
	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	
男性	n=505	n=207	n=347	n=78					
年齢	歳	78.8	9.7	82.2	8.4	82.9	9.1	82.7	8.0
身長	cm	159.6	7.6	159.1	7.8	157.9	7.9	155.9	8.7
体重	kg	56.5	9.2	52.2	8.1	48.9	8.1	45.9	5.2
BMI	kg/cm <sup>2</sup>	22.2	3.2	20.6	2.7	19.6	2.9	19.1	3.3
女性	n=1414	n=640	n=1328	n=288					
年齢	歳	85.7	7.9	86.9	7.8	88.2	7.6	89.1	8.1
身長	cm	145.8	7.2	145.0	6.7	144.0	7.4	143.1	7.5
体重	kg	47.8	8.7	43.6	8.0	41.1	7.4	38.7	6.5
BMI	kg/cm <sup>2</sup>	22.5	3.8	20.7	3.5	19.9	3.5	18.9	3.2

表7-2 実態およびニーズ調査の集計(食形態群別)

	常食群 n=1919		軟食群 n=847		きざみ食群 (ミキサー食含む) n=1675		ゼリ一食群 (ムース食含む) n=366		p値 <sup>1)</sup>
	人	%	人	%	人	%	人	%	
<b>現在の介護度</b>									
要介護1	303	15.8	72	8.5	58	3.5	1	0.3	<.0001
要介護2	508	26.5	156	18.4	151	9.0	7	1.9	
要介護3	588	30.6	238	28.1	351	21.0	29	7.9	
要介護4	410	21.4	257	30.3	585	34.9	124	33.9	
要介護5	110	5.7	124	14.6	530	31.6	205	56.0	
<b>現在の褥瘡状態</b>									
あり	26	1.4	21	2.5	53	3.2	25	6.8	<.0001
なし	1893	98.7	826	97.5	1622	96.8	341	93.2	
<b>現在の栄養補給</b>									
口から食べる	1918	100.0	843	99.5	1657	98.9	320	87.4	<.0001
胃ろう・経管栄養	-	-	-	-	-	-	-	-	
口から食べられるように訓練をしている	1	0.1	4	0.5	18	1.1	46	12.6	
<b>現在の食形態<sup>2)</sup></b>									
常食	1919	100.0	-	-	-	-	-	-	-
軟食	-	-	847	100.0	-	-	-	-	
きざみ食(ミキサー食含む)	-	-	-	-	1675	100.0	-	-	
ゼリ一食(ムース食含む)	-	-	-	-	-	-	366	100.0	
<b>管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか</b>									
はい	1579	82.3	730	86.2	1322	78.9	315	86.1	<.0001
いいえ	340	17.7	117	13.8	353	21.1	51	13.9	
<b>管理栄養士とお話をして栄養や食事のことが理解できてよかったです<sup>3)</sup></b>									
はい	1441	75.1	674	79.6	1251	74.7	292	79.8	0.0065
いいえ	138	7.2	56	6.6	71	4.2	23	6.3	
<b>管理栄養士が関わっているので栄養や食事について安心できる<sup>3)</sup></b>									
はい	1528	79.6	716	84.5	1294	77.3	303	82.8	0.0843
いいえ	51	2.7	14	1.7	28	1.7	12	3.3	
<b>管理栄養士に栄養や食事に関する質問や相談ができるのでよかったです<sup>3)</sup></b>									
はい	1484	77.3	698	82.4	1262	75.3	296	80.9	0.1938
いいえ	95	5.0	32	3.8	60	3.6	19	5.2	
<b>栄養マネジメントが実施されたことでよかったですと思われること</b>									
<b>実施内容について</b>									
食事の形態が食べやすいように工夫されている	1178	61.4	653	77.1	1380	82.4	302	82.5	<.0001
自力で食べられるように工夫されている	842	43.9	440	52.0	807	48.2	138	37.7	<.0001
体調に合わせて食事を作ってくれる	974	50.8	458	54.1	900	53.7	217	59.3	0.0151
希望する食事が食べられる	656	34.2	249	29.4	393	23.5	73	20.0	<.0001
<b>利用者の変化について</b>									
口から食べられるようになった	71	3.7	59	7.0	169	10.1	72	19.7	<.0001
食事を楽しむにしたがった	977	50.9	404	47.7	610	36.4	95	26.0	<.0001
食べる意欲が増えた	595	31.0	308	36.4	543	32.4	117	32.0	0.0511
食欲が出てきた	616	32.1	283	33.4	521	31.1	111	30.3	0.6091
食べる量が増えた	406	21.2	202	23.9	416	24.8	83	22.7	0.0650
水分の摂取量が増えた	347	18.1	154	18.2	287	17.1	64	17.5	0.8722
風邪などにかかりにくくなった	418	21.8	186	22.0	357	21.3	81	22.1	0.9731
糖尿病等が食事で良くなつた	170	8.9	57	6.7	103	6.2	13	3.6	0.0004
褥瘡が良くなつた	27	1.4	29	3.4	77	4.6	40	10.9	<.0001
体重が増えた	499	26.0	231	27.3	370	22.1	92	25.1	0.0123
体重が減つた	186	9.7	66	7.8	138	8.2	23	6.3	0.0938
元気になった	745	38.8	317	37.4	594	35.5	123	33.6	0.0977
体調が良くなつた	724	37.7	329	38.8	564	33.7	124	33.9	0.0187
顔色が良くなつた	453	23.6	236	27.9	523	31.2	133	36.3	<.0001
表情が良くなつた	632	32.9	310	36.6	604	36.1	151	41.3	0.0096
笑顔が増えた	550	28.7	249	29.4	433	25.9	85	23.2	0.0374
行事に参加するようになった	516	26.9	204	24.1	295	17.6	44	12.0	<.0001
会話が増えた	517	26.9	226	26.7	324	19.3	82	22.4	<.0001
<b>栄養・食事の計画や実施に対する要望等</b>									
栄養・食事の計画が分かりにくい	85	4.4	33	3.9	69	4.1	14	3.8	0.8967
胃ろうがあっても口から食べさせほしい	13	0.7	11	1.3	40	2.4	28	7.7	<.0001
ミキサーではなく形のあるものを食べさせてほしい	39	2.0	38	4.5	139	8.3	42	11.5	<.0001
計画書へのサインが頻回なので面倒である	106	5.5	58	6.9	90	5.4	33	9.0	0.0299
食べたいものを食べさせてほしい	693	36.1	319	37.7	566	33.8	96	26.2	0.0007
差し入れは制限して欲しくない	298	15.5	124	14.6	195	11.6	21	5.7	<.0001
体重が増えない	130	6.8	37	4.4	86	5.1	15	4.1	0.0211
体重が減らない	123	6.4	49	5.8	93	5.6	21	5.7	0.7366

<sup>1)</sup>χ<sup>2</sup>二乗検定<sup>2)</sup>現在の栄養補給法にて「胃ろう・経管栄養」と回答した者を除く<sup>3)</sup>「管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか」に「はい」と回答した者のみ

表8-1 実態およびニーズ調査対象者の身体特性(管理栄養士と栄養や食事について話した群および話していない群、男女別)

性別		話した群 <sup>1)</sup>		話していない群 <sup>2)</sup>	
		n=4095		n=928	
		平均	標準偏差	平均	標準偏差
男性		n=972		n=223	
年齢	歳	80.8	9.4	81.6	9.7
身長	cm	158.9	7.9	158.0	8.1
体重	kg	52.7	9.4	51.0	8.7
BMI	kg/cm <sup>2</sup>	20.9	3.3	20.4	3.1
女性		n=3123		n=705	
年齢	歳	87.0	7.9	87.3	7.8
身長	cm	144.8	7.4	144.5	7.2
体重	kg	43.8	8.7	43.5	8.3
BMI	kg/cm <sup>2</sup>	20.9	3.8	20.8	3.7

1)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて管理栄養士と栄養や食事について話したと回答した対象者

2)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて管理栄養士と栄養や食事について話していないと回答した対象者

表8-2 実態およびニーズ調査の集計(管理栄養士と栄養や食事について話した群および話していない群)

	話した群 <sup>1)</sup> n=4095		話していない群 <sup>2)</sup> n=928		p値 <sup>3)</sup>
	人	%	人	%	
現在の介護度					
要介護1	349	8.5	85	9.2	0.2872
要介護2	676	16.5	146	15.7	
要介護3	1000	24.4	209	22.5	
要介護4	1156	28.2	253	27.3	
要介護5	914	22.3	235	25.3	
現在の褥瘡状態					
あり	118	2.9	22	2.4	0.3933
なし	3977	97.1	906	97.6	
現在の栄養補給					
口から食べる	3886	94.9	852	91.8	<.0001
胃ろう・経管栄養	149	3.6	67	7.2	
口から食べられるように訓練をしている	60	1.5	9	1.0	
現在の食形態 <sup>4)</sup>					
常食	1579	38.6	340	36.6	<.0001
軟食	730	17.8	117	12.6	
きざみ食(ミキサー食含む)	1322	32.3	353	38.0	
ゼリー食(ムース食含む)	315	7.7	51	5.5	
管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか					
はい	4095	100.0	—	—	—
いいえ	—	—	928	100.0	
管理栄養士とお話をして栄養や食事のことが理解できてよかったです <sup>5)</sup>					
はい	3801	92.8	—	—	—
いいえ	294	7.2	—	—	
管理栄養士が関わっているので栄養や食事について安心できる <sup>5)</sup>					
はい	3986	97.3	—	—	—
いいえ	109	2.7	—	—	
管理栄養士に栄養や食事に関する質問や相談ができるのでよかったです <sup>5)</sup>					
はい	3881	94.8	—	—	—
いいえ	214	5.2	—	—	
栄養マネジメントが実施されたことでよかったですと思われること					
実施内容について					
食事の形態が食べやすいように工夫されている	2924	71.4	609	65.6	0.0005
自力で食べられるように工夫されている	1860	45.4	372	40.1	0.0031
体調に合わせて食事を作ってくれる	2219	54.2	366	39.4	<.0001
希望する食事が食べられる	1184	28.9	198	21.3	<.0001
利用者の変化について					
口から食べられるようになった	331	8.1	50	5.4	0.0051
食事を楽しみにするようになった	1750	42.7	339	36.5	0.0005
食べる意欲が増えた	1356	33.1	213	23.0	<.0001
食欲が出てきた	1289	31.5	246	26.5	0.003
食べる量が増えた	963	23.5	144	15.5	<.0001
水分の摂取量が増えた	728	17.8	135	14.6	0.0185
風邪などにかかりにくくなった	888	21.7	181	19.5	0.1428
糖尿病等が食事で良くなった	304	7.4	40	4.3	0.0007
褥瘡が良くなった	159	3.9	29	3.1	0.2722
体重が増えた	1047	25.6	190	20.5	0.0011
体重が減った	355	8.7	71	7.7	0.3148
元気になった	1520	37.1	293	31.6	0.0015
体調が良くなった	1512	36.9	295	31.8	0.0033
顔色が良くなった	1175	28.7	233	25.1	0.0281
表情が良くなった	1489	36.4	262	28.2	<.0001
笑顔が増えた	1152	28.1	191	20.6	<.0001
行事に参加するようになった	927	22.6	149	16.1	<.0001
会話が増えた	1010	24.7	159	17.1	<.0001

栄養・食事の計画や実施に対する要望等					
栄養・食事の計画が分かりにくい	145	3.5	64	6.9	<.0001
胃ろうがあっても口から食べさせほしい	130	3.2	29	3.1	0.9379
ミキサーではなく形のあるものを食べさせてほしい	217	5.3	44	4.7	0.4894
計画書へのサインが頻回なので面倒である	267	6.5	39	4.2	0.0077
食べたいものを食べさせてほしい	1440	35.2	255	27.5	<.0001
差し入れは制限して欲しくない	543	13.3	98	10.6	0.026
体重が増えない	236	5.8	36	3.9	0.022
体重が減らない	251	6.1	47	5.1	0.2151

1)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて管理栄養士と栄養や食事について話したと回答した対象者

2)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて管理栄養士と栄養や食事について話していないと回答した対象者

3)χ二乗検定

4)現在の栄養補給法にて「胃ろう・経管栄養」と回答した者を除く

5)「管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか」に「はい」と回答した者のみ

表8-3 実態およびニーズ調査対象者の身体特性(管理栄養士と栄養や食事について話した群の専属群および給食兼務群、男女別)

		専属群 <sup>1)</sup>		給食兼務群 <sup>2)</sup>	
		n=2442		n=1653	
		平均	標準偏差	平均	標準偏差
男性		n=600		n=372	
年齢	歳	80.4	9.8	81.5	8.7
身長	cm	159.2	7.8	158.6	8.1
体重	kg	52.9	9.4	52.5	9.4
BMI	kg/cm <sup>2</sup>	20.9	3.3	20.9	3.5
女性		n=1842		n=1281	
年齢	歳	87.0	8.0	87.1	7.9
身長	cm	144.9	7.0	144.7	7.9
体重	kg	43.6	8.5	44.2	8.9
BMI	kg/cm <sup>2</sup>	20.7	3.7	21.1	4.1

1)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて栄養マネジメント業務に専属従事者がいる施設に入所している対象者

2)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて栄養マネジメント業務と給食業務を兼務している者がいる施設に入所している対象者

表8-4 実態およびニーズ調査の集計(管理栄養士と栄養や食事について話した群の専属群および給食兼務群)

	専属群 <sup>1)</sup>		給食兼務群 <sup>2)</sup>		p値 <sup>3)</sup>
	n=2442	%	n=1653	%	
人	人	人	人	人	
現在の介護度					
要介護1	206	8.4	143	8.7	0.4243
要介護2	425	17.4	251	15.2	
要介護3	597	24.5	403	24.4	
要介護4	680	27.9	476	28.8	
要介護5	534	21.9	380	23.0	
現在の褥瘡状態					
あり	67	2.7	51	3.1	0.5214
なし	2375	97.3	1602	96.9	
現在の栄養補給					
口から食べる	2331	95.5	1555	94.1	0.0452
胃ろう・経管栄養	84	3.4	65	3.9	
口から食べられるように訓練をし	27	1.1	33	2.0	
現在の食形態 <sup>4)</sup>					
常食	973	39.8	606	36.7	0.2075
軟食	418	17.1	312	18.9	
きざみ食(ミキサー食含む)	779	31.9	543	32.9	
ゼリー食(ムース食含む)	188	7.7	127	7.7	
管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか					
はい	2442	100.0	1653	100.0	-
いいえ	-	-	-	-	
管理栄養士とお話をして栄養や食事のことが理解できてよかったです <sup>5)</sup>					
はい	2295	94.0	1506	91.1	0.0005
いいえ	147	6.0	147	8.9	
管理栄養士が関わっているので栄養や食事について安心できる <sup>5)</sup>					
はい	2396	98.1	1590	96.2	0.0002
いいえ	46	1.9	63	3.8	
管理栄養士に栄養や食事に関することの質問や相談ができるのでよかったです <sup>5)</sup>					
はい	2332	95.5	1549	93.7	0.0117
いいえ	110	4.5	104	6.3	
栄養マネジメントが実施されたことでよかったですと思われること					
実施内容について					
食事の形態が食べやすいように工夫されている	1764	72.2	1160	70.2	0.1523
自力で食べられるように工夫されている	1130	46.3	730	44.2	0.1831
体調に合わせて食事を作ってくれる	1333	54.6	886	53.6	0.5340
希望する食事が食べられる	717	29.4	467	28.3	0.4423
利用者の変化について					
口から食べられるようになった	193	7.9	138	8.4	0.6082
食事を楽しみにするようになった	1067	43.7	683	41.3	0.1317
食べる意欲が増えた	834	34.2	522	31.6	0.0860
食欲が出てきた	800	32.8	489	29.6	0.0317
食べる量が増えた	578	23.7	385	23.3	0.7795
水分の摂取量が増えた	448	18.4	280	16.9	0.2480
風邪などにかかりにくくなった	556	22.8	332	20.1	0.0409
糖尿病等が食事で良くなった	190	7.8	114	6.9	0.2898
褥瘡が良くなった	91	3.7	68	4.1	0.5291
体重が増えた	653	26.7	394	23.8	0.0366
体重が減った	224	9.2	131	7.9	0.1638
元気になった	956	39.2	564	34.1	0.0011
体調が良くなった	963	39.4	549	33.2	<.0001
顔色が良くなった	743	30.4	432	26.1	0.0029
表情が良くなった	932	38.2	557	33.7	0.0035
笑顔が増えた	705	28.9	447	27.0	0.2018
行事に参加するようになった	603	24.7	324	19.6	0.0001
会話が増えた	630	25.8	380	23.0	0.0407

栄養・食事の計画や実施に対する要望等					
栄養・食事の計画が分かりにくい	69	2.8	76	4.6	0.0026
胃ろうがあっても口から食べさせほしい	62	2.5	68	4.1	0.0048
ミキサーではなく形のあるものを食べさせてほしい	128	5.2	89	5.4	0.8417
計画書へのサインが頻回なので面倒である	155	6.4	112	6.8	0.5860
食べたいものを食べさせてほしい	824	33.7	616	37.3	0.0205
差し入れは制限して欲しくない	316	12.9	227	13.7	0.4632
体重が増えない	134	5.5	102	6.2	0.3573
体重が減らない	166	6.8	85	5.1	0.0302

1)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて栄養マネジメント業務に専属従事者がいる施設に入所している対象者

2)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて栄養マネジメント業務と給食業務を兼務している者がいる施設に入所している対象者

3)χ二乗検定

4)現在の栄養補給法にて「胃ろう・経管栄養」と回答した者を除く

5)「管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか」に「はい」と回答した者のみ

表8-5 実態およびニーズ調査対象者の身体特性(管理栄養士と栄養や食事について話していない群の専属群および給食兼務群、男女別)

性別	専属群 <sup>1)</sup>		給食兼務群 <sup>2)</sup>	
	n=433		n=495	
	平均	標準偏差	平均	標準偏差
年齢 男性	n=107		n=116	
年齢 歳	81.0	9.5	82.1	9.9
身長 cm	159.4	8.0	156.7	8.1
体重 kg	52.4	7.9	49.7	9.2
BMI kg/cm <sup>2</sup>	20.6	2.9	20.2	3.4
女性	n=326		n=379	
年齢 歳	87.2	8.1	87.4	7.6
身長 cm	144.9	7.5	144.2	6.9
体重 kg	43.7	8.2	43.3	8.4
BMI kg/cm <sup>2</sup>	20.8	3.5	20.8	3.8

1)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて栄養マネジメント業務に専属従事者がいる施設に入所している対象者

2)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて栄養マネジメント業務と給食業務を兼務している者がいる施設に入所している対象者

表8-6 実態およびニーズ調査の集計（管理栄養士と栄養や食事について話していない群の専属群および給食兼務群）

	専属群 <sup>1)</sup>		給食兼務群 <sup>2)</sup>		p値 <sup>3)</sup>
	人	%	人	%	
現在の介護度					
要介護1	41	9.5	44	8.9	0.1550
要介護2	64	14.8	82	16.6	
要介護3	86	19.9	123	24.9	
要介護4	133	30.7	120	24.2	
要介護5	109	25.2	126	25.5	
現在の褥瘡状態					
あり	10	2.3	12	2.4	0.9087
なし	423	97.7	483	97.6	
現在の栄養補給					
口から食べる	398	91.9	454	91.7	0.8259
胃ろう・経管栄養	30	6.9	37	7.5	
口から食べられるように訓練をしている	5	1.2	4	0.8	
現在の食形態 <sup>4)</sup>					
常食	157	36.3	183	37.0	0.0045
軟食	60	13.9	57	11.5	
きざみ食(ミキサー食含む)	151	34.9	202	40.8	
ゼリー食(ムース食含む)	35	8.1	16	3.2	
管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか					
はい	—	—	—	—	—
いいえ	433	100.0	495	100.0	
栄養マネジメントが実施されたことでよかったですと思われること					
実施内容について					
食事の形態が食べやすいように工夫されている	274	63.3	335	67.7	0.1594
自力で食べられるように工夫されている	172	39.7	200	40.4	0.8327
体調に合わせて食事を作ってくれる	168	38.8	198	40.0	0.7088
希望する食事が食べられる	84	19.4	114	23.0	0.1780
利用者の変化について					
口から食べられるようになった	26	6.0	24	4.9	0.4364
食事を楽しみにするようになった	146	33.7	193	39.0	0.0961
食べる意欲が増えた	91	21.0	122	24.7	0.1895
食欲が出てきた	99	22.9	147	29.7	0.0186
食べる量が増えた	65	15.0	79	16.0	0.6907
水分の摂取量が増えた	51	11.8	84	17.0	0.0252
風邪などにかかりにくくなった	85	19.6	96	19.4	0.9277
糖尿病等が食事で良くなった	17	3.9	23	4.7	0.5898
褥瘡が良くなった	15	3.5	14	2.8	0.5786
体重が増えた	91	21.0	99	20.0	0.7019
体重が減った	36	8.3	35	7.1	0.4771
元気になった	130	30.0	163	32.9	0.3420
体調が良くなった	136	31.4	159	32.1	0.8161
顔色が良くなった	120	27.7	113	22.8	0.0869
表情が良くなった	116	26.8	146	29.5	0.3611
笑顔が増えた	83	19.2	108	21.8	0.3193
行事に参加するようになった	67	15.5	82	16.6	0.6512
会話が増えた	69	15.9	90	18.2	0.3649

**栄養・食事の計画や実施に対する要望等**

栄養・食事の計画が分かりにくい	25	5.8	39	7.9	0.2067
胃ろうがあっても口から食べさせほしい	16	3.7	13	2.6	0.3505
ミキサーではなく形のあるものを食べさせてほしい	24	5.5	20	4.0	0.2827
計画書へのサインが頻回なので面倒である	15	3.5	24	4.9	0.2944
食べたいものを食べさせてほしい	120	27.7	135	27.3	0.8807
差し入れは制限して欲しくない	45	10.4	53	10.7	0.8764
体重が増えない	15	3.5	21	4.2	0.5402
体重が減らない	22	5.1	25	5.1	0.9832

1)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて栄養マネジメント業務に専属従事者がいる施設に入所している対象者  
2)介護老人福祉施設および介護老人保健施設にて栄養マネジメント業務と給食業務を兼務している者がいる施設に入所している対象者

3)χ二乗検定

4)現在の栄養補給法にて「胃ろう・経管栄養」と回答した者を除く

### **III 調査票**

---

□調査票 1:介護保険施設における栄養マネジメントの業務調査(基本項目)

□調査票 2:栄養マネジメントの業務調査(業務項目)入力フォーム

□調査票 3:栄養マネジメント(栄養・食事の計画及び実施等)に関する実態及びニーズに関する質問票



## 介護保険施設における栄養マネジメントの業務調査(基本項目)

記入年月日 平成 年 月 日

ID	入力者氏名			資格	<input type="checkbox"/> 管理栄養士	<input type="checkbox"/> 栄養士	
施設種別	<input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設 (特養)			<input type="checkbox"/> 介護老人保健施設 (老健)			
施設名	〒	住所					
TEL	—	FAX	—	—			
入所者定員	人	現入所者数	人	新入所者数	人	退所者数	
医療機関入院者数	人	医療機関退院者数	人	サービス担当者会議件数	件		
栄養マネジメントの説明・同意者数	人	行事食(イベント食)の回数			回		
栄養マネジメント業務	<input type="checkbox"/> 専属	<input type="checkbox"/> 給食業務と兼務	<input type="checkbox"/> その他( )				
栄養マネジメント事務業務	<input type="checkbox"/> パーソナルコンピュータ			<input type="checkbox"/> 手書き	<input type="checkbox"/> その他		
栄養ケア計画・経過記録	<input type="checkbox"/> 栄養マネジメントとして独自作成			<input type="checkbox"/> 施設ケアプラン・個別記録に記入			
給食業務の形態	<input type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 全面委託	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> その他			
勤務形態	<input type="checkbox"/> 常勤	<input type="checkbox"/> 非常勤	雇用形態	<input type="checkbox"/> 施設職員	<input type="checkbox"/> 受託会社職員		
併設事業	<input type="checkbox"/> 通所介護		<input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション	<input type="checkbox"/> 居宅支援事業所			
	<input type="checkbox"/> 地域包括支援センター		<input type="checkbox"/> その他( )				
栄養改善の加算申請	<input type="checkbox"/> 通所介護		<input type="checkbox"/> 介護予防通所介護				
	<input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション		<input type="checkbox"/> 介護予防通所リハビリテーション				
栄養改善の取組実績	通所介護		件	介護予防通所介護	件		
	通所リハビリテーション		件	介護予防通所リハビリテーション	件		
その他の加算申請	<input type="checkbox"/> 経口維持加算(I)		<input type="checkbox"/> 経口維持加算(II)				
	<input type="checkbox"/> 経口移行加算		<input type="checkbox"/> 療養食加算				
その他の加算実績	経口維持加算(I)		人	経口維持加算(II)	人		
	経口移行加算		人	療養食加算	人		
入所者の介護度	要支援1(人)	要支援2(人)	要介護1(人)	要介護2(人)	要介護3(人)	要介護4(人)	要介護5(人)
栄養補給法 (経口内訳)	経口	人	非経口	人			
	常食	人	軟食	人	ミキサー食他	人	
食事介助	自力	人	一部介助	人	全介助	人	
看取り介護加算申請	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	看取り実施件数	人			
インシデント(ヒヤリ・ハット)の回数	件		アクシデント(事故報告)の回数	件			

## 栄養マネジメントの業務調査(業務項目)入力フォーム

調査期間の項目別業務時間(単位:分)

ID	入力者氏名	調査期間 平成23年1月17日～2月16日																															
項目	日付	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	計
A フェースシート作成	1 情報収集																														0		
	2 書類作成																														0		
	フェースシート作成小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
B 栄養スクリーニング	1 情報収集																														0		
	2 書類作成																														0		
	栄養スクリーニング小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
C 栄養アセスメント	1 情報収集																														0		
	2 書類作成																														0		
	栄養アセスメント小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
D 栄養ケア計画書	1 書類作成																														0		
	2 サービス担当者会議																														0		
	3 説明と同意																														0		
	栄養ケア計画書小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
E 実施	1 食事オーダーリング																														0		
	2 栄養ケアの実施																														0		
	3 栄養ケアの内容確認																														0		
	4 食事・栄養指導																														0		
	5 ケア経過記録																														0		
	実施小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
F モニタリング・評価	1 情報収集と整理																														0		
	2 書類作成																														0		
	モニタリング・評価小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
G 会議	1 施設内会議																														0		
	2 施設外会議																														0		
	会議小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
H 研修	1 施設内研修																														0		
	2 施設外研修																														0		
	研修小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
I 指導・教育	1 施設内																														0		
	2 施設外																														0		
	指導・教育小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
J 給食業務	1 食事提供業務																														0		
	2 給食従事者への指導・教育																														0		
	給食業務小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
K 在宅に係る業務	1 通所の栄養改善																														0		
	2 その他																														0		
	在宅に係る業務小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
L その他	業務時間数計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	入力日																														0		
	入力時刻(例:19)																														0		

※今一度、入力ミスや1日の合計時間を確認してください。施設外の場所や自宅での業務も含まれます。

※調査全期間の総合計数(橙色)は、勤務日数と勤務時間を掛けた数値と大きくかけ離れていないか確認してください。

※黄色又は橙色の表示は、計算式が入っていますので、入力はしないで下さい。

## 栄養マネジメント(栄養・食事の計画及び実施等)に関する実態及びニーズに関する質問票

ID		調査年月日	平成23年 月 日	調査担当者名	
生年月日	<input type="checkbox"/> 明治 <input type="checkbox"/> 大正 <input type="checkbox"/> 昭和 年 月 日			性 別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
現在の介護度	<input type="checkbox"/> 要介護1 <input type="checkbox"/> 要介護2 <input type="checkbox"/> 要介護3 <input type="checkbox"/> 要介護4 <input type="checkbox"/> 要介護5				
現在の身長	cm	現在の体重	kg	現在の褥瘡状態	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
現在の栄養補給	<input type="checkbox"/> 口から食べる <input type="checkbox"/> 胃ろう・経管栄養 <input type="checkbox"/> 口から食べられるように訓練をしている				
現在の食形態	<input type="checkbox"/> 常食 <input type="checkbox"/> 軟食 <input type="checkbox"/> きざみ食(ミキサー食含む) <input type="checkbox"/> ゼリー食(ムース食等含む)				

以下の質問にお答えください。

1. 管理栄養士と栄養や食事に関するお話をされたことがありますか (□はい □いいえ)  
(1ではいと答えた方のみ2、3、4の問い合わせに答えて下さい)
2. 管理栄養士とお話をして栄養や食事のことが理解できよかったです (□はい □いいえ)
3. 管理栄養士が関わっているので栄養や食事について安心できる (□はい □いいえ)
4. 管理栄養士に栄養・食事に関するこの質問や相談ができるのでよかったです (□はい □いいえ)
5. 栄養マネジメント(栄養・食事の計画や実施等)が実施されたことで良かったと思われることに□をしてください(複数回答可)

①実施内容について

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 食事の形態が食べやすいように工夫されている | <input type="checkbox"/> 体調に合わせて食事を作ってくれる |
| <input type="checkbox"/> 自力で食べられるように工夫されている    | <input type="checkbox"/> 希望する食事が食べられる     |

②ご利用者さんの変化について

- |   |  |                                     |
|---|--|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 口から食べられるようになった | <input type="checkbox"/> 食事を楽しみにするようになった | <input type="checkbox"/> 食べる意欲が増えた  |
| <input type="checkbox"/> 食欲が出てきた        | <input type="checkbox"/> 食べる量が増えた        | <input type="checkbox"/> 水分の摂取量が増えた |
| <input type="checkbox"/> 風邪などにかかりにくくなった | <input type="checkbox"/> 糖尿病等が食事でよくなつた   | <input type="checkbox"/> 褥瘡がよくなつた   |
| <input type="checkbox"/> 体重が増えた         | <input type="checkbox"/> 体重が減つた          | <input type="checkbox"/> 元気になった     |
| <input type="checkbox"/> 体調がよくなつた       | <input type="checkbox"/> 顔色がよくなつた        | <input type="checkbox"/> 表情がよくなつた   |
| <input type="checkbox"/> 笑顔が増えた         | <input type="checkbox"/> 行事等に参加するようになった  | <input type="checkbox"/> 会話が増えた     |

\* その他(良かったと思われたことについてご記入ください)

6. 栄養・食事の計画や実施に対する要望等で該当する項目に□をしてください(複数回答可)

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 栄養・食事の計画が分かりにくい        | <input type="checkbox"/> 食べたいものを食べさせたい  |
| <input type="checkbox"/> 胃ろうがあっても口から食べさせて欲しい    | <input type="checkbox"/> 差し入れは制限してほしくない |
| <input type="checkbox"/> ミキサーではなく形あるものを食べさせて欲しい | <input type="checkbox"/> 体重が増えない        |
| <input type="checkbox"/> 計画書へのサインが頻回なので面倒である    | <input type="checkbox"/> 体重が減らない        |

\* その他(要望等を自由にお書き下さい)



## **IV 資料編**

---

□研究説明書 1

介護保険施設における栄養マネジメントに係る業務量調査の基本項目に関する説明書

□研究説明書 2

介護保険施設における栄養マネジメントに係る業務量調査の業務量項目に関する説明書



## 介護保険施設における栄養マネジメントに係る業務量調査の 基本項目に関する説明書

### 1. 調査対象者について

基本的には栄養マネジメント業務を行っている施設直属の常勤の管理栄養士にお答えいただきます。したがって、献立作成・発注・調理指導等の食事提供に係る仕事（給食業務）のみを行っている管理栄養士・栄養士（全面委託の場合の受託会社の管理栄養士・栄養士も含む）にはお答えいただけません。ただし、次の場合は複数の管理栄養士にお答えいただきます。

①施設に複数の管理栄養士が所属している場合であって、それぞれが栄養マネジメントの業務を行っており、トータル的に1名以上の栄養マネジメント専従の管理栄養士が業務を行っていると同様であると判断される場合は、それぞれの管理栄養士にお答えいただきます。

②常勤の管理栄養士に加えて常勤もしくは非常勤の管理栄養士が常勤の管理栄養士と同様に栄養マネジメントを行っている場合は、その管理栄養士も調査の対象となります。

なお、栄養マネジメント専従の管理栄養士とは、「介護保険施設における栄養マネジメント業務量調査の調査項目に示されている内容の業務」を行っている管理栄養士です。ただし、複数の管理栄養士が栄養マネジメント業務調査をしなければならない場合は、それぞれが別々の ID で入力していただくことになります。その場合は、調査研究事務局にその旨を早急に申し出させていただきます。

### 2. IDについて

集計解析業務の際に、調査施設が特定できないように調査研究事務局で調査施設及び調査協力者 ID を決めさせていただきます。したがって、調査内容等の問い合わせにつきましては、ID 番号を確認させていただきますので、必ず調査入力後コピーを取り、調査研究が完了するまで、手元に保管するようにしていただきます。

### 3. 入力者氏名について

調査入力者の氏名については、調査票に関する問い合わせに必要となりますので、ご記入いただけますようご協力をお願いします。ただし、調査票が完成し、集計業務に入った段階で入力者氏名を削除させていただきます。

### 4. 資格について

該当する欄に□もしくは■で記入します。

### 5. 施設種別について

該当する欄に□もしくは■で記入します。

6. 施設名について

施設種別（特養 or 老健）を除き、施設名のみ記入します。

7. 郵便番号と住所について

調査結果を返却する際に必要となりますので、必ず記入します。

8. TEL と FAX について

調査内容の問い合わせに使わせていただきますので、必ず記入します。

9. 入所者定員・現入所者数・新入所者数・退所者数について

入所者定員は、指定申請時に記入した人数。現入所者数は調査期間の実延人数（入院している方を除いた調査期間の総延人数）を日数で割った数。新入所者数は、調査期間に新たに入所した人数。退所者数は調査期間に退所した人数を記入します。

10. 医療機関入院者数・医療機関退院者数について

調査期間中に、医療機関に入院された人数。また、医療機関から退院されて施設に戻られた人数を記入します。

11. サービス担当者会議件数

調査期間におけるカンファレンスも含めたサービス担当者会議の件数を記入します。  
1人の方に、数回実施した場合は、その回数も件数としてカウントしていただきます。

12. 栄養マネジメントの説明・同意について

調査期間中に利用者またはご家族に栄養マネジメントの説明・同意を行った場合は、その人数を記入します。

13. 行事食（イベント食）の回数

調査期間中における行事食の回数を記入します。

14. 栄養マネジメント業務について

該当する欄に□もしくは■で記入します。その他の業務がある場合はその他にチェックをし、その内容を書きます。

15. 栄養マネジメント事務業務

栄養マネジメントの事務業務を何でしているか？該当する欄に□もしくは■で記入します。その他の業務方法がある場合はその他にチェックをし、その内容を書きます。

## 16. 栄養ケア計画・経過記録

栄養ケア計画や経過記録を栄養マネジメントとして独自に作成されているのか?または、施設ケアプランや個別記録の経過記録など施設ケアマネジャーのフォームを使用しているのか?該当する欄に□もしくは■で記入します。

## 17. 給食業務の形態について

該当する欄に□もしくは■で記入します。記載されている以外の給食業務の形態がある場合は、その他にチェックをし、その形態を欄外の余白に記入します。

## 18. 勤務形態について

該当する欄に□もしくは■で記入します。

## 19. 雇用形態について

該当する欄に□もしくは■で記入します。

## 20. 併設事業について

併設事業を行っている場合は、該当する欄に□もしくは■で記入します。記載されている以外の事業がある場合は、その他にチェックをし、事業名を記入します。

## 21. 栄養改善の加算申請について

栄養改善加算を申請している該当事業の欄に□もしくは■で記入します。

## 22. 栄養改善の取組実績について

貴施設の併設事業所の通所サービスにおいて、調査期間中に栄養改善サービスを実施した件数を記入します。栄養改善サービスを実施していない場合は「0」件と記入します。したがって、同一対象者に 2 回指導を行っている場合は、指導件数を「2」件として記入します。

## 23. その他の加算申請について

記載されている項目の申請が行われている場合は、該当する欄に□もしくは■で記入します。

## 24. その他の加算実績について

貴施設の加算申請に基づいたサービスにおいて、調査期間中に実施した人数を記入します。該当するサービスを実施していない場合は「0」人と記入します。

## 25. 入所者の介護度について

調査開始日の入所者全員の介護度について要支援 1・2、介護度 1・2・3・4・5 を個々に集計し、その人数を記入します。

## 26. 栄養補給法について

調査開始日の入所者全員について経口・非経口の人数を集計し、該当する欄に人数を記入します。経口移行等により一部非経口の人は経口として集計してください。さらに、経口の人数について食事形態を常食・軟食・ミキサー食他に分類し、集計した人数を記入します。

## 27. 食事介助について

調査開始日の入所者全員について自力摂取・一部介助・全介助に分類し、該当する欄にその人数を記入します。

## 28. 看取り介護加算申請・看取り加算実施人数について

該当する欄に□もしくは■で記入します。「あり」と回答した場合は、調査期間中に行われた実施人数も記入します。申請は「あり」であるが、調査期間中に実施がない場合は「〇」と記入します。

## 29. インシデント（ヒヤリ・ハット）の回数

調査期間中における栄養マネジメントのインシデントの回数を記入します。栄養マネジメントとは、食事のオーダーリングと食事提供時のチェックまでとし、給食業務は含まないこととします。

## 30. アクシデント（事故報告）の回数

調査期間中における栄養マネジメントのアクシデントの回数を記入します。栄養マネジメントとは、食事のオーダーリングと食事提供時のチェックまでとし、給食業務は含まないこととします。

## 31. 調査施設概要調査用紙のお願いについて

調査施設の概要を適切に把握し、解析等にバイアスがかからないようにするために、調査施設概要調査用紙（別紙）が同封してありますので、早急にご記入いただき、調査研究事務局へ返送下さいますようお願いします。

## 介護保険施設における栄養マネジメントに係る業務量調査の 業務量項目に関する説明書

栄養マネジメント業務については、下記の項目に分けて分類していただき、調査票と CD に入力されている Excel シートに入力していただきます。ただし、CD の Excel は読み取り専用となっておりますので、CD の Excel をご使用のパソコン（デスクトップ、マイドキュメント、USB 等）にコピーしてから、その Excel シートに入力してください。全ての入力が終了した後、そのデータを CD にコピーしてください。コピーされた Excel の ID と内容が入力されているかを確認してください。（CD-RW に説明書を入れてありますので、参考にしてください。）また、上記の説明で不明な点がありましたら遠慮なく研究事務局にご連絡ください。

なお、**入力単位は全て分**とします。（時間ではありませんので間違わないようにお願いします。）また、施設以外の場所や自宅で行った業務も含まれますので、毎日の総業務時間数（早退等がなければ 480 分以上）を確認するようお願ひします。入力の補助として業務量項目の表を A3 に拡大コピーして使用していただく方法もあります。

### A. フェースシート作成

（入所が決定した方に対して作成する施設が多いと思われるが、アセスメントシートに包括されている施設もあるので、必ず記入に該当する業務ではありません。）

#### ＜情報収集＞

他職種（生活相談員、看護師、ケアマネジャー等）が事前調査した書面からの転記。管理栄養士が自ら利用者や家族、他の機関の専門職から事前調査などによる情報把握した時間も含まれます。

#### ＜書類作成＞

食事提供の準備を行うため、現在の食事形態、嗜好、食事摂取時の特徴、自助具使用的有無、治療食の有無、食事摂取基準（暫定）など情報収集した内容を整理し、フェースシートの該当する欄に記入します。

### B. スクリーニング

（入所時または入所後に、スクリーニングをしてスクリーニング書を作成する。）

#### ＜情報収集＞

身体状況（身長、体重）、食事摂取量の把握、栄養補給法、褥瘡の状態を把握するため、他職種（生活相談員、看護師、ケアマネジャー等）が身体計測や血液検査など実測したデータや保持したりしている書類（診断書、医療情報提供書など）からの転記。勿論、自ら身体計測（身長、体重）や食事摂取量調査等をした場合も含まれます。

＜書類作成＞

上記の情報収集した内容を整理し、身体計測から BMI や体重減少率を計算したり、食事摂取量の記録票から摂取量を割り出したりして、スクリーニング書を作成します。

C. アセスメント（再アセスメントも含む）

（スクリーニング後に、リスクの状態に応じたアセスメントを行い、アセスメント書を作成し、ケア計画書を作成するための資料とします。）

＜情報収集＞

①利用者・家族から食事・栄養に関する意向を聞き取る。また、主観的健康感や意欲を確認します。

②フェースシートやスクリーニングで収集した以外の情報を収集します。そして、以下の項目を実測したデータや他職種が保持したりしている書類から転記します。

- ・食事提供のための必要事項（嗜好、禁忌、アレルギー、食事摂取行為の自立、自助具の使用、滑り止めマット、食事場所、座位保持）
- ・食事内容（主食・副食の食事形態、補助食品の使用、療養食の指示）
- ・摂食状況（意欲や食欲の低下、咀嚼障害、嚥下障害、水分摂取不足）
- ・経口移行・経口維持を実施するための嚥下検査等
- ・身体計測（体重、上腕周囲長、下腿周囲長）
- ・臨床検査（血清アルブミン値、ヘモグロビン、血糖値、総コレステロール等）
- ・既往歴、現疾患、服薬状況（種類と数、食品との相互作用）
- ・排泄状況（回数、量、便秘、下痢）、身体状況（顔色、表情、皮膚の状態、浮腫等）
- ・口腔内の状態（痛み、義歯の不都合、口臭、味覚の低下、口渴、むせ）

＜書類作成＞

上記の情報収集した内容を整理し、アセスメント書を作成します。なお、上記データを加味して食事摂取基準を算出する時間も含まれます。

D. 栄養ケア計画（暫定ケア計画書も含む）

＜書類作成＞

アセスメント書を総合的に見て、ケア計画書を作成します。（食事形態、食種の決定、経腸栄養剤や栄養補助食品の選定や製品等に関するメーカーからの情報収集も含まれます。）

＜サービス担当者会議＞

サービス担当者会議で栄養ケア・マネジメントの本人・家族の意向を確認した上で、栄養ケア計画書の長期目標・短期目標・ケア内容とそれぞれの期間について説明し、多職種による討議を行い、栄養ケア計画書を完成します。特に、特別養護老人ホーム等で医師と直接に相談できないことがあるので、療養食や経腸（管）栄養剤等に関して医師

との連携（相談・確認等）を電話等で行った場合も含まれます。

なお、利用者個人を対象にした会議（カンファレンス等）も含まれます。

＜説明と同意＞

上記会議で完成させた栄養ケア計画書の内容を本人・家族に説明し、同意を得ます。（電話や郵送について同意を得ている場合は、電話に要した時間、封書を作成した時間も含まれます。）ただし、生活相談員、ケアマネジャーに説明と同意を依頼している場合は含まれません。

## E. 栄養ケアの実施

＜食事のオーダーリング＞

ケア計画書で確定した食事摂取基準、療養食の内容、食形態などを給食専従の管理栄養士・栄養士（全面委託も含む）にオーダーリング（食事箋の発行及び食事箋による指示）と食事提供時の確認をします。

＜栄養ケアの実施＞

口腔ケアや嚥下訓練（補助も含む）、食事環境の準備（食具・姿勢等）、食事介助、食事摂取状況の観察を管理栄養士自ら実施した場合です。

＜実施ケア内容の確認＞

実施したケア内容（食事摂取量、水分補給、体重等の身体状況、口腔ケア等）の確認を行います。自ら身体計測を行った場合も含まれます。

＜食事・栄養指導＞

本人・家族や介護職員（担当利用者に関することに限る）に対する食事・栄養指導を行った場合です。

＜ケア経過記録＞

上記で実施した内容のケア経過を記録します。食事箋（指示書）や食事提供確認書の記入・整理も含まれます。

## F. モニタリング・評価

＜情報収集と整理＞

スクリーニング及びアセスメント書で食事・栄養に問題があるとされた項目を栄養ケア計画書に抽出した上で、食事・栄養に関する維持改善を図っていることから、モニタリングはその項目の推移を確認・整理してから評価するまでの準備とします。

＜書類作成＞

上記の情報収集・整理をモニタリング・評価書に記入し、総合評価をしてケア計画書の変更または継続等の判断をするまでとします。

## G. 会議

### ＜施設内会議＞

施設内会議としては、リスクマネジメント委員会、褥瘡委員会、感染症対策委員会などであり、栄養ケア計画書を完成させるための「サービス担当者会議」以外の会議となります。

なお、施設ケア計画書に栄養ケア計画書が組み込まれていて全体のサービス担当者会議を行っている場合にあっては、Dの項目にある栄養ケア計画の「サービス担当者会議」とします。当然、カンファレンス等の個人を対象とした会議もDの項目にある栄養ケア計画の「サービス担当者会議」となります。また、食事提供のための給食会議は給食業務となり、J 給食業務の食事提供業務になります。

### ＜施設外会議＞

介護保険に関して実施されている外部の各種会議とします。例えば、介護認定審査会、地域包括支援センター運営協議会などです。

## H. 研修

### ＜施設内研修＞

施設で実施している全ての研修としますが、受講者として参加している場合とします。

### ＜施設外研修＞

施設以外の団体や機関が実施している研修会に、受講者として参加している場合とします。

## I. 指導・教育

### ＜施設内指導・教育＞

施設の給食業務に携わっている者を除く他職種や家族会などの集団を対象とした指導・教育をした場合とします。

### ＜施設外指導・教育＞

施設以外の団体や機関が実施している研修会に、講師として参加している場合とします。

## J. 給食業務

### ＜食事提供業務＞

食事提供に関するオーダーリングを除き、食事提供に係る食数集計・献立・発注・調理業務の全てを給食業務とします。

### ＜給食従事者への指導・教育＞

給食業務に携わっている従事者への指導・教育とします。(委託の場合でも受託業者への指導・教育をした場合は含むとします。)

K. 在宅に係る業務

＜通所の栄養改善＞

介護老人福祉施設（特養）におけるデイサービス、介護老人保健施設における通所リハビリテーションで行う栄養改善サービスとします。

＜その他＞

上記に示したデイサービス、通所リハビリテーションの栄養改善以外の短期入所、居宅支援事業所等の在宅サービスに係る利用者や職員への報告・連絡・相談などとします。

L. その他

上記に該当しないすべての業務

**「介護保険施設における栄養マネジメント業務の質と量及び利用者・家族の満足度に関する調査」  
ワーキンググループ**

氏名	所属
政安 静子	社会福祉法人 新世会 特別養護老人ホーム いくり苑那珂 副施設長
林 弥生	社会福祉法人 横浜博萌会 特別養護老人ホームしらゆり園 総務課課長補佐
小野 久美子	社会福祉法人 共生会 藤沢特別養護老人ホーム 管理栄養士
竹田 すずよ	川崎市 れいんぼう川崎 主任
高野 佑子	社会福祉法人 新世会 特別養護老人ホーム いくり苑那珂 管理栄養士
佐藤 明子	社会福祉法人 輝きの会 いきいきの郷 管理栄養士
石井 礼子	特別非営利活動法人 発達サポート実冠 栄養相談 総括責任者
田中 真智子	川崎市市民・子ども局こども本部子育て施策部保育課 担当課長
高橋 由紀子	仙台市蒲町保育所 所長

**研究指導**

佐々木 敏	東京大学大学院 医学系研究科 公共健康医学専攻 疫学保健学講座 社会予防医学分野 教授
-------	--

業務量調査・満足度調査協力施設

北海道	特別養護老人ホーム やまとの里	秋田	介護老人保健施設 鹿角微笑苑
北海道	特別養護老人ホーム さくら園	秋田	特別養護老人ホーム浩寿苑
北海道	特別養護老人ホーム 暁寿園	秋田	介護老人保健施設 くらかけの里
北海道	介護老人保健施設 北星館	秋田	特別養護老人ホーム神山荘
北海道	介護老人保健施設 愛里苑	秋田	特別養護老人ホーム松喬苑
北海道	介護老人保健施設 マオイの里	秋田	特別養護老人ホームシルバードームいきいきの郷
北海道	特別養護老人ホーム 白石ハイツ	秋田	介護老人保健施設 いこいの里
青森	特別養護老人ホーム 彩幸園アルテリーベ	秋田	特別養護老人ホーム杉風荘
青森	介護老人保健施設 ニューライフ芙蓉	秋田	特別養護老人ホーム青山荘
青森	介護老人保健施設 ひばりの里	秋田	特別養護老人ホームシャイントピア皆瀬
青森	介護老人保健施設 ふじ苑	秋田	特別養護老人ホーム南寿園
青森	特別養護老人ホーム寿楽荘	秋田	特別養護老人ホーム高清水寿光園
青森	特別養護老人ホーム福寿草	山形	特別養護老人ホーム 大寿荘
青森	特別養護老人ホーム緑青園	山形	特別養護老人ホーム 福寿荘
青森	特別養護老人ホームせせらぎ荘	山形	特別養護老人ホーム 松濤荘
青森	介護老人保健施設 ながだい荘	山形	特別養護老人ホーム あこがれ
青森	特別養護老人ホームハピネスながわ	山形	介護老人保健施設 サンプラザ米沢
青森	特別養護老人ホーム恵光園	山形	介護老人保健施設 ラ・フォーレ天童
青森	特別養護老人ホーム祥光苑	山形	介護老人保健施設 徳田山
岩手	特別養護老人ホーム 平安荘	山形	介護老人保健施設 ほなみ荘
岩手	介護老人保健施設 リハビリタウン くじ	山形	介護老人保健施設 あづま
岩手	介護老人保健施設 快老苑金ヶ崎	山形	特別養護老人ホーム とかみ共生苑
岩手	介護老人保健施設 ハートフルもりおか	山形	介護老人保健施設 ほのか
岩手	特別養護老人ホーム すずらんガーデン	山形	特別養護老人ホーム 長生園
岩手	特別養護老人ホーム すみた荘	山形	特別養護老人ホーム まごころ荘
岩手	介護老人保健施設 ケアホームやすみ	山形	特別養護老人ホーム なの花荘
岩手	介護老人保健施設 櫻の里	山形	特別養護老人ホーム 愛日荘
岩手	特別養護老人ホームいしどりや荘	山形	特別養護老人ホーム 鈴川敬寿園
岩手	特別養護老人ホームさんりくの園	山形	特別養護老人ホーム いずみ
宮城	社会福祉法人東北福祉会 せんだんの館	山形	特別養護老人ホーム サンファミリア米沢
宮城	社会福祉法人大泉会 楽園が丘	山形	特別養護老人ホームこぶし荘
宮城	社会福祉法人 愛光園	山形	特別養護老人ホーム白光園
宮城	介護老人保健施設 ユニットケア泉	山形	特別養護老人ホーム幸楽荘
宮城	介護老人保健施設 ハート五橋	山形	特別養護老人ホーム桃寿荘
宮城	社会福祉法人愛泉会 愛泉園	福島	特別養護老人ホーム おおつき
宮城	特別養護老人ホーム 恵潮苑	福島	特別養護老人ホーム 枝雪零苑
秋田	特別養護老人ホーム一つ森	福島	特別養護老人ホーム しょうぶ苑
秋田	特別養護老人ホームやすらぎホームけやき	福島	介護老人保健施設 アネシス
秋田	特別養護老人ホームふるさと学び舎	福島	介護老人保健施設 ケアタウンひまわり
秋田	介護老人保健施設 ゆーとぴあ神室	福島	介護老人保健施設 りんどう
秋田	特別養護老人ホーム海潮園	福島	特別養護老人ホーム いなわしろホーム
秋田	介護老人保健施設 大館園	福島	特別養護老人ホーム さゆりの園

福島	特別養護老人ホーム あたみホーム	群馬	特別養護老人ホームひだまりの森白樺荘
福島	介護老人保健施設 桔梗	群馬	特別養護老人ホームサンライズさかいの
福島	特別養護老人ホーム北原荘	埼玉	特別養護老人ホーム 殿山亀寿苑
福島	特別養護老人ホーム玉川ホーム	埼玉	特別養護老人ホーム 吹上苑
茨城	特別養護老人ホーム アクティブライフさかど	埼玉	特別養護老人ホーム ナーシングヴィラ本郷
茨城	特別養護老人ホーム 玉樹	埼玉	介護老人保健施設 きんもくせい
茨城	介護老人保健施設 協和ヘルシーセンター	埼玉	介護老人保健施設 秋桜
茨城	介護老人保健施設 日立南ヘルシーセンター	埼玉	介護老人保健施設 薫風園
茨城	介護老人保健施設 ひだまり俱楽部	埼玉	介護老人保健施設 トワーム熊谷
茨城	介護老人保健施設 フェニックス那珂	埼玉	特別養護老人ホーム 亀令園
茨城	特別養護老人ホーム サン豊浦	埼玉	特別養護老人ホーム 常磐苑
茨城	特別養護老人ホーム 銀砂台	埼玉	特別養護老人ホーム みよし園
茨城	特別養護老人ホーム いくり苑那珂	千葉	特別養護老人ホーム まんさくの里
茨城	介護老人保健施設 アレーテルつくば	千葉	特別養護老人ホーム ひまわりの丘
茨城	介護老人保健施設 コミュニティーセンター樅山	千葉	特別養護老人ホーム 清和園
栃木	特別養護老人ホーム 唐沢静山荘	千葉	特別養護老人ホーム 第二松丘園
栃木	特別養護老人ホーム 八汐苑	千葉	介護老人保健施設 つくも苑
栃木	特別養護老人ホーム和見山苑	千葉	介護老人保健施設 ケアーセンターかずさ
栃木	特別養護老人ホーム 大栗の里	千葉	介護老人保健施設 はつらつリハビリセンター
栃木	特別養護老人ホーム 佐野サンリバー	千葉	介護老人保健施設 おおくすの郷
栃木	介護老人保健施設 ケア・ステージ氏家	千葉	特別養護老人ホーム 南花園
栃木	特別養護老人ホーム オレンジホーム	千葉	特別養護老人ホーム 瞳沢園
栃木	特別養護老人ホーム グリーンホーム	千葉	特別養護老人ホーム 九十九里ホーム山田
栃木	特別養護老人ホーム 粟野荘	千葉	介護老人保健施設 慈風苑
栃木	特別養護老人ホーム 豊郷の郷 石井	東京	北新宿特別養護老人ホーム
群馬	特別養護老人ホーム清風園	東京	特別養護老人ホーム 谷中
群馬	老人福祉施設明風園	東京	特別養護老人ホーム 菊かおる園
群馬	特別養護老人ホームききょうの里	東京	特別養護老人ホーム アトリエ村
群馬	介護老人保健施設 大誠苑	東京	特別養護老人ホーム みずべの苑
群馬	介護老人保健施設 たちばな荘	東京	介護老人保健施設 ミレニアム桜台
群馬	特別養護老人ホーム長寿荘	東京	介護老人保健施設 大泉学園 ふきのとう
群馬	老人保健施設けやき苑	東京	特別養護老人ホーム いづみの苑
群馬	医療法人 鶴谷会 鶴寿園	東京	特別養護老人ホーム ペタニアホーム
群馬	特別養護老人ホーム第二明光園	神奈川	特別養護老人ホーム 美立の杜
群馬	特別養護老人ホームサザン小川	神奈川	介護老人保健施設 境木の丘
群馬	特別養護老人ホームからまつ荘	神奈川	介護老人保健施設 リハリゾートわかたけ
群馬	特別養護老人ホーム鶴生田園	神奈川	介護老人保健施設 リハパーク舞岡
群馬	老人保健施設グッドウエル	神奈川	特別養護老人ホーム わかたけ青葉
群馬	介護老人保健施設 とね	神奈川	高齢者介護総合センター 聖母の園
群馬	特別養護老人ホームにしきの園	神奈川	特別養護老人ホーム 今井の郷
群馬	特別養護老人ホームシェステさとの花	神奈川	介護老人保健施設 神奈川苑
群馬	特別養護老人ホームサニーヒル	神奈川	特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘
群馬	特別養護老人ホーム元気の郷	神奈川	特別養護老人ホームたまぶらーザ俱楽部

神奈川	特別養護老人ホーム ライフヒルズ舞岡苑	新潟	特別養護老人ホーム 美雪園
神奈川	特別養護老人ホーム 横浜市天神ホーム	新潟	特別養護老人ホーム 大浦の里
神奈川	特別養護老人ホーム天王森の郷	新潟	介護老人保健施設 優和の里
神奈川	はあとぴあ特養老人ホーム	新潟	介護老人保健施設 グリーンヒル与板
神奈川	社会福祉法人ひまわりの郷	富山	特別養護老人ホーム 常楽園
神奈川	特別養護老人ホーム中の郷	富山	特別養護老人ホームほつとはうす千羽
神奈川	社会福祉法人三栄会ベルホーム	富山	特別養護老人ホーム 舟見寿楽苑
神奈川	シルバータウン相模原	富山	介護老人保健施設 つるさんかめさん
神奈川	特別養護老人ホームみたけ	富山	介護老人保健施設 ゆうゆうハウス
神奈川	介護老人保健施設ほほえみの丘	富山	介護老人保健施設 白雲荘
神奈川	介護老人保健施設ぬくもりの家	富山	特別養護老人ホーム やなぜ苑
神奈川	特別養護老人ホーム恒春の郷	富山	特別養護老人ホーム ふるさと敬寿苑
神奈川	特別養護老人ホーム慶星閣	富山	特別養護老人ホームあすなろの郷
神奈川	特別養護老人ホーム弥生苑	富山	特別養護老人ホーム ふしき苑
神奈川	特別養護老人ホーム快風苑	富山	介護老人保健施設 シルバーケア栗山
神奈川	横浜市新橋ホーム	富山	介護老人保健施設 シルバーケア羽根苑
神奈川	特別養護老人ホーム興寿苑	富山	介護老人保健施設 西町セントラルヴィレー
神奈川	麗寿会特別養護老人ホームふれあいの泉	富山	特別養護老人ホーム のむら藤園苑
神奈川	大田区立特別養護老人ホーム たまがわ	石川	特別養護老人ホーム あかしあ荘
神奈川	介護老人保健施設横浜あおばの里	石川	介護老人保健施設 あんじん金沢
神奈川	介護老人保健施設あすなろ	石川	介護老人保健施設 なでしこの丘
神奈川	介護老人保健施設あさひな	石川	介護老人保健施設 いしかわ
神奈川	介護老人保健施設ふるさと	石川	特別養護老人ホーム サンライフ滝の里
神奈川	介護老人保健施設樹の丘	石川	介護老人保健施設 アップル
神奈川	介護老人保健施設遊花園	石川	介護老人保健施設 加賀中央メディケアホーム
神奈川	介護老人保健施設野比苑	石川	特別養護老人ホーム ことぶき園
神奈川	ハートケア湘南芦名	福井	特別養護老人ホーム 豊楽園
神奈川	特別養護老人ホーム共楽荘	福井	特別養護老人ホーム 文殊苑
神奈川	特別養護老人ホームシーサイド湯河原	福井	特別養護老人ホーム 山翠苑
神奈川	介護老人時保健施設かまくらしるばーむ	福井	特別養護老人ホーム もみじの里
神奈川	南大和老人保健施設	山梨	介護老人福祉施設 恵信ロジエ
神奈川	特別養護老人ホーム逗子ホームせせらぎ	山梨	特別養護老人ホーム 春光園
神奈川	美山特別養護老人ホーム	山梨	特別養護老人ホーム 寿荘
神奈川	リバーサイド田名ホーム	山梨	介護老人福祉施設 コスモ
神奈川	藤沢特別養護老人ホーム	山梨	介護老人保健施設 甲府相川ケアセンター
神奈川	成和ナーシングプラザ	山梨	介護老人保健施設 サンビューフジ沢
神奈川	カーデニア・ごしょみ	山梨	特別養護老人ホーム 花菱荘
新潟	特別養護老人ホーム うらだての里	山梨	特別養護老人ホーム 富士川荘
新潟	特別養護老人ホーム いなほ園	山梨	特別養護老人ホーム 白根聖明園
新潟	介護老人保健施設 米山爽風苑	山梨	峠西老人保健センター
新潟	特別養護老人ホーム 花見の里	長野	特別養護老人ホーム エーデルこまがね
新潟	特別養護老人ホーム こぶし園	長野	特別養護老人ホーム 観成園
新潟	特別養護老人ホーム しおさいの里	長野	特別養護老人ホーム 越百園

長野	特別養護老人ホーム ケアポートみまき	京都	特別養護老人ホーム ヴィラ上賀茂
長野	介護老人保健施設 御所苑	京都	特別養護老人ホーム 花友しらかわ
長野	介護老人保健施設 ケアまるこ	京都	特別養護老人ホーム 洛東園
長野	介護老人保健施設 しののめの里	京都	特別養護老人ホーム 京都老人ホーム
長野	介護老人保健施設 シルバーポートつかばら	京都	特別養護老人ホーム バブテストホーム
長野	介護老人保健施設 辛夷園	京都	特養 賀茂きはだ園
岐阜	特別養護老人ホーム 燦爛	大阪	特別養護老人ホーム アシステンツア桜川
岐阜	特別養護老人ホーム 喜久寿苑	大阪	特別養護老人ホーム なるかわ苑
岐阜	特別養護老人ホーム いぶき苑	大阪	特別養護老人ホーム 萬寿園
岐阜	特別養護老人ホーム 長寿の里南濃	大阪	介護老人保健施設 守口ラガール
岐阜	介護老人保健施設 さわやかリバーサイドビラ	大阪	介護老人保健施設 なごみの里
岐阜	介護老人保健施設グリーンビラ安江	大阪	特別養護老人ホーム 玉田山荘
岐阜	介護老人保健施設 長良川ビラ	大阪	介護老人保健施設 アルカディア
岐阜	介護老人保健施設 ハートケア松岡	大阪	介護老人保健施設 メディケアタマイ
岐阜	県立寿楽苑	大阪	特別養護老人ホーム 覚寿園
岐阜	県立飛騨寿楽苑	大阪	特別養護老人ホーム 弥栄の郷
岐阜	特別養護老人ホーム 大洞岐協苑	兵庫	特別養護老人ホーム 緑風館
岐阜	総合ケアセンターサンピレッジ	兵庫	特別養護老人ホーム すいせんホーム
静岡	特別養護老人ホーム 吉津園	兵庫	特別養護老人ホーム サンホームみかづき
静岡	まんさくの里	兵庫	介護老人保健施設 伊丹ゆうあい
静岡	介護老人保健施設 コミュニティーケア吉田	兵庫	介護老人保健施設 エスペランサ
愛知	老人保健施設 瑞穂	兵庫	特別養護老人ホーム 洲本ラガール
愛知	老人保健施設メディコ阿久比	兵庫	特別養護老人ホーム 五色・サルビアホール
愛知	特別養護老人ホーム 恵寿荘	兵庫	特別養護老人ホーム 千鳥会ゴールド
愛知	特別養護老人ホーム 安立荘	兵庫	介護老人保健施設 三田温泉シルバーステイ
愛知	特別養護老人ホーム あい寿の丘	兵庫	介護老人保健施設 せいふう
三重	特別養護老人ホーム 華旺寿	奈良	社会福祉法人綜合施設 美吉野園
三重	介護老人保健施設 伊賀ゆめが丘	奈良	特別養護老人ホーム オームヴィラ新庄園
三重	介護老人保健施設 緑風苑	奈良	介護老人保健施設 ふれあい
三重	介護老人保健施設 第2おかなみ	奈良	介護老人保健施設 リンク橿原
滋賀	特別養護老人ホーム ぽぷら	奈良	介護老人保健施設 ルポゼまきの
滋賀	特別養護老人ホーム 近江舞子しょうぶ苑	奈良	特別養護老人ホーム 郁慈苑「郁慈会」
滋賀	特別養護老人ホーム けやきの杜	奈良	都祁すずらん苑
滋賀	介護老人保健施設 シニアセンターティファニー	奈良	介護老人保健施設 サンライフ奈良
滋賀	介護老人保健施設 サンビューしが	奈良	介護老人保健施設 そよ風荘
滋賀	特別養護老人ホーム 邂逅の郷	和歌山	特別養護老人ホーム 山口葵園
滋賀	特別養護老人ホーム 奥びわこ	和歌山	特別養護老人ホーム 大日山荘
滋賀	特別養護老人ホーム 兆生園	和歌山	特別養護老人ホーム みどりが丘ホーム
京都	特別養護老人ホーム 城南ホーム	和歌山	特別養護老人ホーム 真寿苑
京都	京都市久世特別養護老人ホーム	和歌山	介護老人保健施設 恵友ライフケアセンター
京都	京都市小川特別養護老人ホーム	和歌山	特別養護老人ホーム 紀伊松風苑
京都	西七条特別養護老人ホーム	和歌山	特別養護老人ホーム わかうら苑
京都	京都市格野特別養護老人ホーム	和歌山	特別養護老人ホーム 国城寮

和歌山	介護老人保健施設 天美苑	広島	特別養護老人ホーム こじか荘
鳥取	特別養護老人ホーム ゆうらく	広島	介護老人保健施設 もみじ園
鳥取	特別養護老人ホーム 三津白寿苑	広島	特別養護老人ホーム 瀬戸寮
鳥取	介護老人保健施設 アイアイ	広島	特別養護老人ホーム 水明園
島根	特別養護老人ホーム 大野の郷	山口	特別養護老人ホーム みどり園
島根	特別養護老人ホーム しらさぎ苑	山口	特別養護老人ホーム サンライフ山陽
島根	特別養護老人ホーム しおさい	山口	特別養護老人ホーム 宇部あかり園
島根	介護老人保健施設 仁寿苑	山口	特別養護老人ホーム かなえ
島根	介護老人保健施設 第二寿生苑	山口	特別養護老人ホーム 日の山園
島根	介護老人保健施設 恵寿苑	山口	介護老人保健施設 なごやか熊毛
島根	ナーシングセンター ひまわり	山口	介護老人保健施設 豊松苑
島根	厚生センター八雲寮	山口	介護老人保健施設 春の里
島根	特別養護老人ホーム なごみ苑	山口	介護老人保健施設 やすらぎ苑
島根	介護老人保健施設 まんだ	山口	特別養護老人ホーム 光富士白苑
島根	特別養護老人ホーム 清流園	山口	特別養護老人ホーム 青景園
岡山	特別養護老人ホーム アダムスホーム	山口	特別養護老人ホーム 瀨海園
岡山	特別養護老人ホーム 日本原荘	山口	介護老人保健施設 温泉の里
岡山	特別養護老人ホーム 山陽寿荘	山口	特別養護老人ホームたぶせ苑
岡山	特別養護老人ホーム 神庭荘	山口	特別養護老人ホームむつみ園
岡山	特別養護老人ホーム 足守荘	山口	特別養護老人ホームつづじ苑
岡山	老人保健施設岡山リハビリテーションホーム	徳島	特別養護老人ホーム 阿南荘
岡山	老人保健施設和光園	徳島	特別養護老人ホーム ライム
岡山	(財)共愛会老人保健施設虹	徳島	特別養護老人ホーム菊美荘
岡山	特別養護老人ホーム三清荘	徳島	特別養護老人ホーム 青香園
岡山	介護老人保健施設若宮老人保健センター	徳島	特別養護老人ホーム 喜楽苑
岡山	介護老人保健施設あいの里リハビリ苑	徳島	老人保健施設 昇
岡山	特別養護老人ホーム長楽園	徳島	介護老人保健施設 長寿園
岡山	特別養護老人ホームおおさ苑	徳島	老人保健施設 国府リハビリテーション フェニックス
岡山	特別養護老人ホーム大ヶ池荘	徳島	介護老人保健施設 ライフケア応神
岡山	特別養護老人ホーム長船荘	徳島	老人保健施設 平成苑
岡山	特別養護老人ホームかもがわ荘	徳島	介護老人福祉施設 ヴィラ羽ノ浦
岡山	介護老人保健施設ナーシングホーム三愛	徳島	老人保健施設いこいの家鳴山荘
岡山	吉備高原賀陽荘	徳島	三好市特別養護老人ホーム長生園
岡山	穂香の里	徳島	介護老人保健施設 ゆうゆう荘
広島	特別養護老人ホーム造賀福祉園	徳島	特別養護老人ホーム 神山すだち園
広島	特別養護老人ホーム喜楽園	徳島	特別養護老人ホーム 永楽荘
広島	特別養護老人ホームサンライズ大池	徳島	介護老人保健施設ロイヤルヘルスケア
広島	特別養護老人ホーム さいきせせらぎ園	香川	介護老人保健施設 はがみ苑
広島	特別養護老人ホーム 寿老園老人ホーム	香川	介護老人保健施設 ヌーベルさんがわ
広島	特別養護老人ホーム 相扶園	香川	介護老人保健施設 香南苑
広島	介護老人保健施設 ひまわり	香川	特別養護老人ホーム 松林荘
広島	介護老人保健施設 阿賀コスモス園	香川	特別養護老人ホーム 松ヶ浦荘
広島	介護老人保健施設 あさぎり	香川	特別養護老人ホーム マリアの園

香川	介護老人保健施設 宝壽苑	佐賀	介護老人保健施設 夢の里
香川	介護老人保健施設 コリーナ	佐賀	特別養護老人ホーム ロザリオの園
愛媛	特別養護老人ホーム 川之江荘	佐賀	介護老人保健施設螢水荘
愛媛	特別養護老人ホーム 豊園荘	佐賀	特別養護老人ホームこすもす苑
愛媛	特別養護老人ホーム 森の園	長崎	特別養護老人ホームしづみ
愛媛	特別養護老人ホーム 自在園	長崎	特別養護老人ホーム恵珠苑
愛媛	介護老人保健施設 和光苑	長崎	介護老人保健施設つくしの里
愛媛	特別養護老人ホーム希望が丘荘	長崎	介護老人保健施設フォスター島原
愛媛	特別養護老人ホーム幸富久荘	長崎	特別養護老人ホームつばきの里
愛媛	特別養護老人ホーム樋谷荘	長崎	特別養護老人ホームなでしこ荘
高知	特別養護老人ホームコスモスの里	長崎	特別養護老人ホーム永寿園
高知	特別養護老人ホーム三宝荘	長崎	老人保健施設光風
高知	特別養護老人ホームはるの若菜荘	長崎	介護老人保健施設シンフォニー稻佐の森Ⅱ
高知	シーサイドホーム	熊本	特別養護老人ホーム しらぬい荘
高知	老人保健施設 ヘルシーケア なはり	熊本	特別養護老人ホーム 泗水苑
高知	いの町立介護老人保健施設仁淀清流苑	熊本	特別養護老人ホーム 菊香園
高知	老人保健施設 シルバーマリン	熊本	介護老人保健施設 太陽
高知	老人保健施設 あさひ	熊本	介護老人保健施設 阿房宮
高知	介護老人保健施設 サンケアしみず	熊本	介護老人保健施設 南楓苑
高知	総合福祉施設ヘリオス(森の里高知)	熊本	特別養護老人ホーム 聖母の丘
高知	高陵特別養護老人ホーム葉山荘	熊本	特別養護老人ホーム 愛隣の家
高知	特別養護老人ホーム吾北荘	熊本	特別養護老人ホーム さくら苑
高知	特別養護老人ホームトキワ苑	熊本	特別養護老人ホームくわのみ荘
高知	老人保健施設 ぎんなん荘	大分	介護老人保健施設 希の里
高知	介護老人保健施設 長命荘	大分	介護老人保健施設 やまなみの苑
高知	介護老人保健施設 梅壽苑	大分	介護老人保健施設 岡の苑
福岡	特別養護老人ホーム 共生の里津福	大分	介護老人保健施設 サンビュー南海
福岡	特別養護老人ホーム 照陽園	宮崎	特別養護老人ホーム 高崎苑
福岡	介護老人保健施設 あやめの里	宮崎	特別養護老人ホーム あけぼの園
福岡	特別養護老人ホームシティケア博多	宮崎	介護老人保健施設 長寿の里
福岡	介護老人保健施設さぐり浜江苑	宮崎	介護老人保健施設 東海園
福岡	介護老人保健施設宗像アコール	宮崎	介護老人保健施設 しあわせの里
福岡	介護老人保健施設 光	宮崎	特別養護老人ホーム 大地
佐賀	特別養護老人ホーム そよかぜの杜	宮崎	特別養護老人ホーム ごかせ荘
佐賀	特別養護老人ホーム シルバーケア三瀬	宮崎	特別養護老人ホーム きたがわ荘
佐賀	介護老人保健施設 うぶすな	宮崎	特別養護老人ホーム ほほえみの園
佐賀	介護老人保健施設 たんぽぽ	宮崎	介護老人保健施設 ラポール向洋
佐賀	介護老人保健施設 ケアポート楽寿園	宮崎	むつみ苑
佐賀	介護老人保健施設 グリーンヒル幸寿園	鹿児島	特別養護老人ホーム あけぼの
佐賀	特別養護老人ホーム 扇寿荘	鹿児島	介護老人保健施設 コスモス苑
佐賀	特別養護老人ホーム シルバーケア吉野ヶ里	鹿児島	介護老人保健施設 つわぶき
佐賀	特別養護老人ホーム 作礼荘	鹿児島	介護老人保健施設 愛と結いの街
佐賀	介護老人保健施設 清涼荘	鹿児島	介護老人保健施設 おさしお

鹿児島	介護老人保健施設 青雲荘
鹿児島	特別養護老人ホーム 錦江園
鹿児島	特別養護老人ホーム 憩いの里
鹿児島	介護老人保健施設 グレースホーム
鹿児島	特別養護老人ホーム陽光苑
沖縄	特別養護老人ホーム 沖縄偕生園
沖縄	特別養護老人ホーム おもと園
沖縄	特別養護老人ホーム 良長園
沖縄	介護老人保健施設 中城苑
沖縄	介護老人保健施設 かりゆしの里
沖縄	介護老人保健施設 エメロードてだこ苑